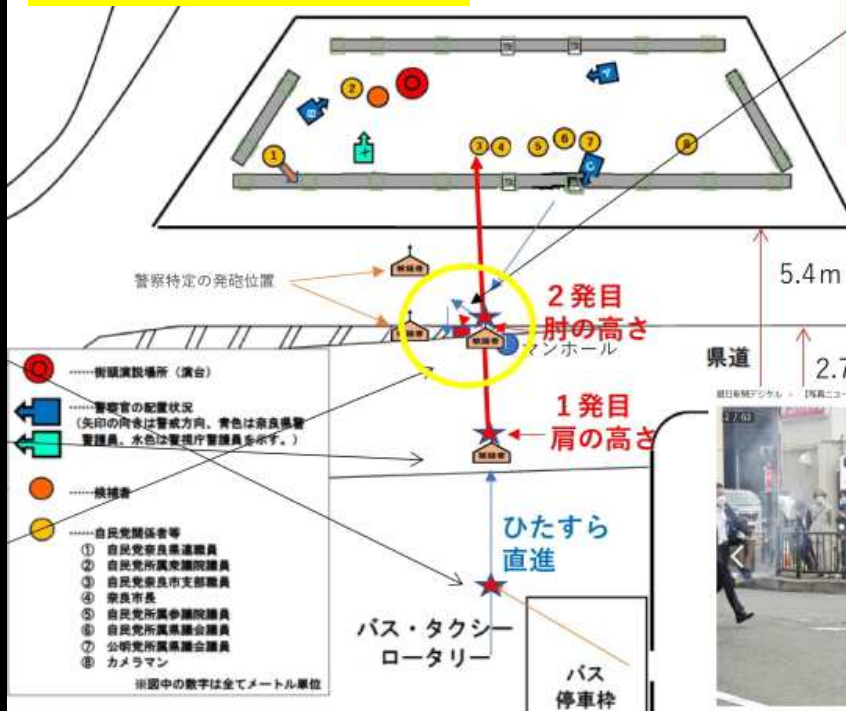


安倍元総理は山上銃で撃たれていない 発砲位置が違う 銃の向きが違う

報道映像から山上の発砲位置を推定 (マンホールと県道中央線が起点に)



警察庁報告書内レイアウト図より



銃を左手で捨てて、警
護員Cにキャッチされる
突進で迫るCを左方向
に2歩よける



各種検証用分析動画はユーチューブで →
本解説書PDF →

<https://www.youtube.com/@ihelper1002>

<https://bit.ly/3O3tgUI>

井上文二

安倍元総理が被弾したとされる山上被告の2発目発砲位置を特定していきます。
重要根拠は被告確保と手製銃放置の位置



歩きながら北進し、立ち止まることなく1発目発砲後、5歩目で2発目を発砲します。下記はその直前

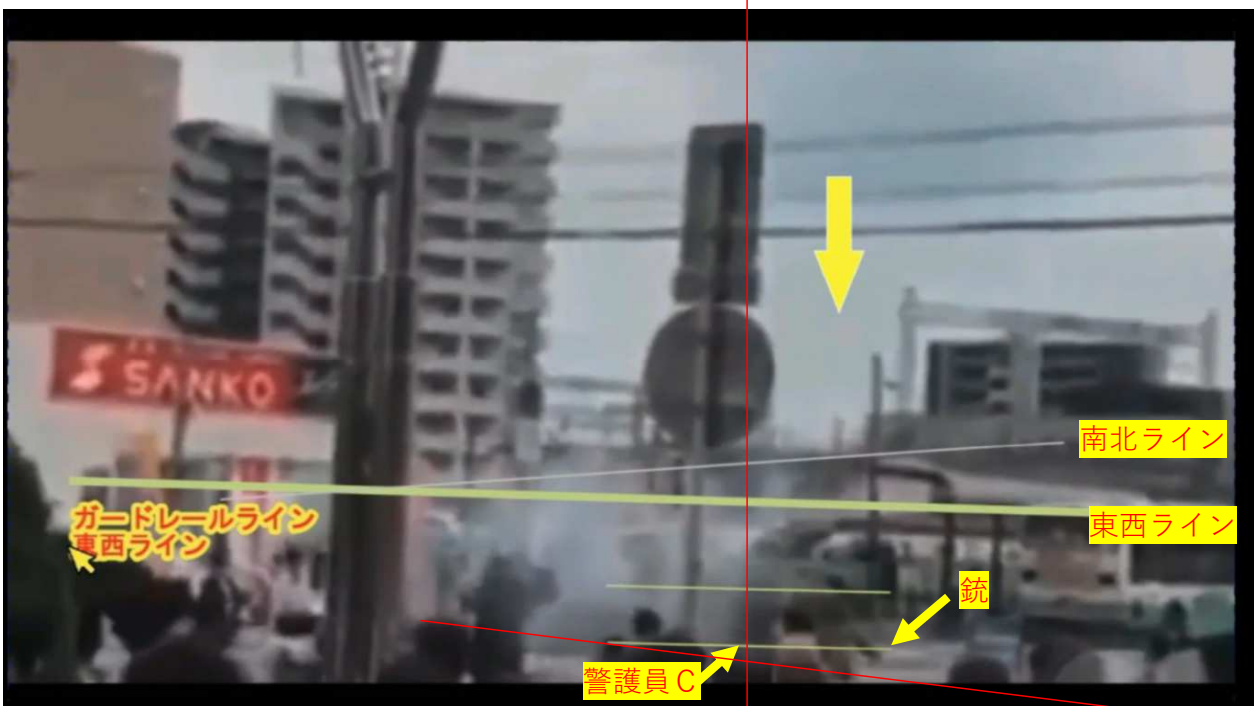


※本レポート内の画像はihelperチャンネルで公開している動画からのキャプチャーを編集しています。チャンネルは <https://www.youtube.com/@ihelper1002>

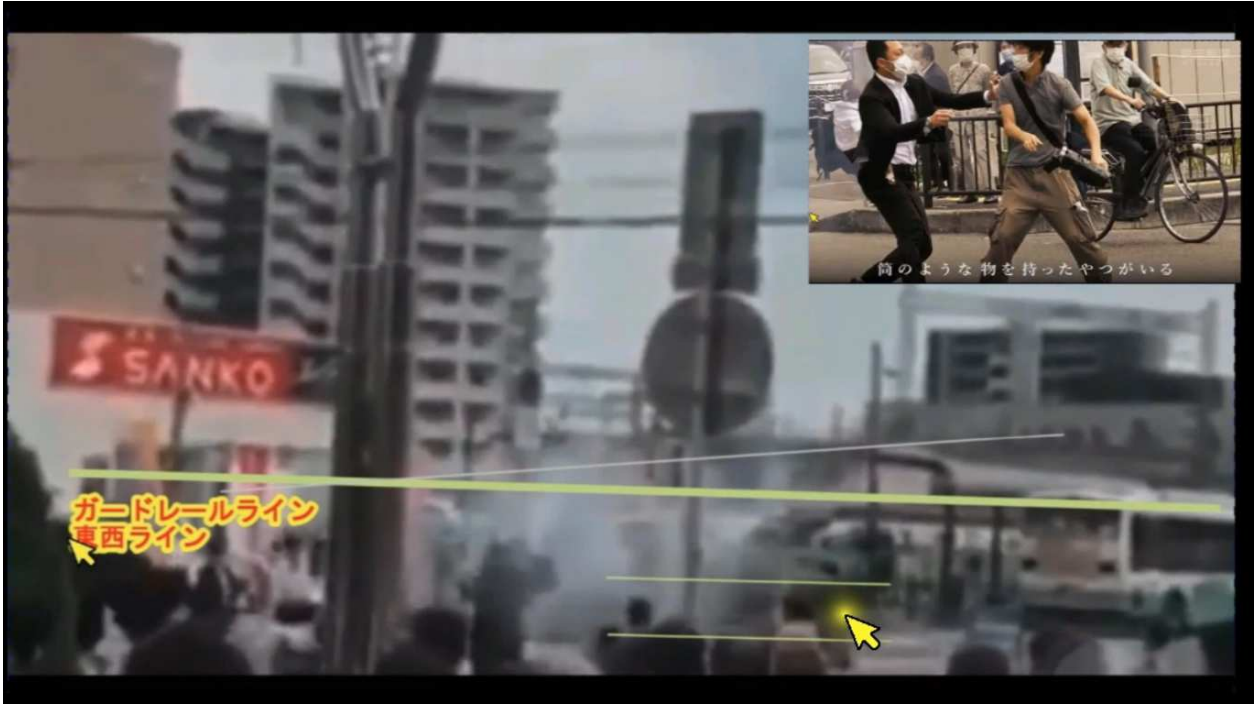
立ち止まることなく北へ直進のまま 2 発目を発砲します。
1 発目発砲→直進 5 歩目→2 発目発砲
警護員 C が山上へ突進開始



山上は突進する警護員 C を見ながら西方向で逃げ、捕まる前に銃を下に捨てる。



発砲から確保までの動画映像に朝日新聞社の報道写真をほぼ同期させています。



捨てられた銃は山上の足などに当たり、最終的な放置位置は少し北側（画面左方向）に



警護員Cが突進して山上を捕まえるシーンを拡大しています。
同期に少しだけずれがありますがほぼ同一シーンです。
(その1)



銃は捕まる前に足下に捨てられました。



警護員Cが突進して山上を捕まえるシーンを拡大しています。
同期に少しだけずれがありますがほぼ同一シーンです。
(その2)



銃は県道の中央線の内側にあり、この後、北側に移動します。

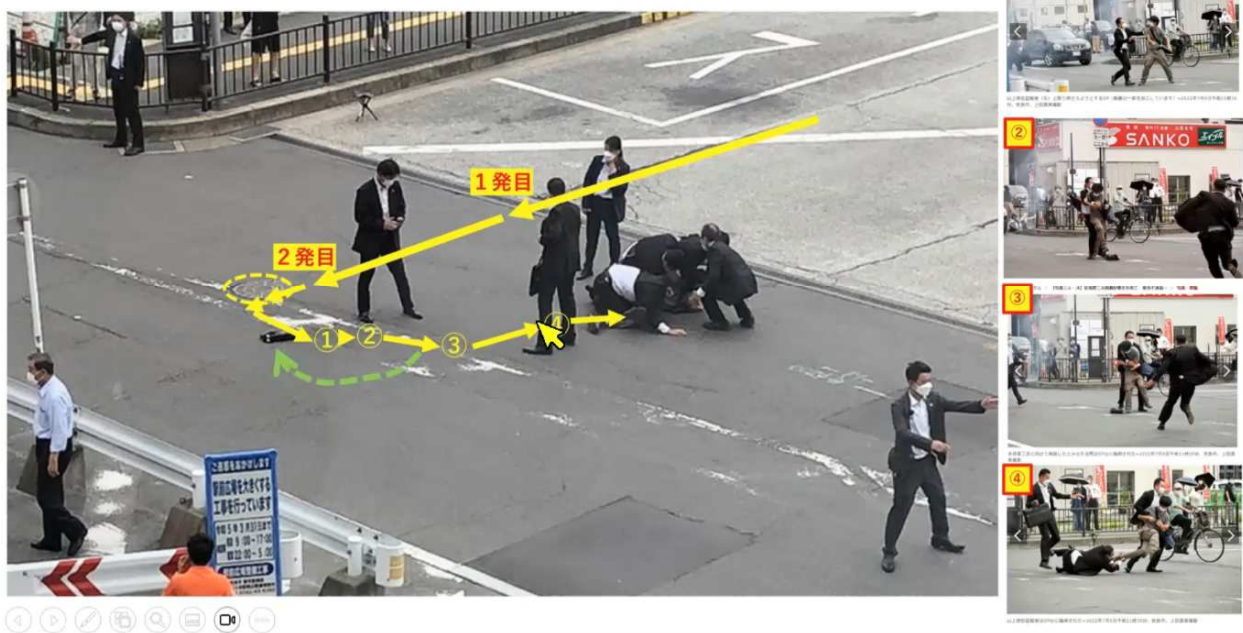


2発目発砲後の山上と警護員Cの動きから、2発目発砲位置が警察庁報告書に記載されている位置とは明らかに異なることが確認できました。



朝日新聞の写真も参考に、おおよその進行ルートがわかります。

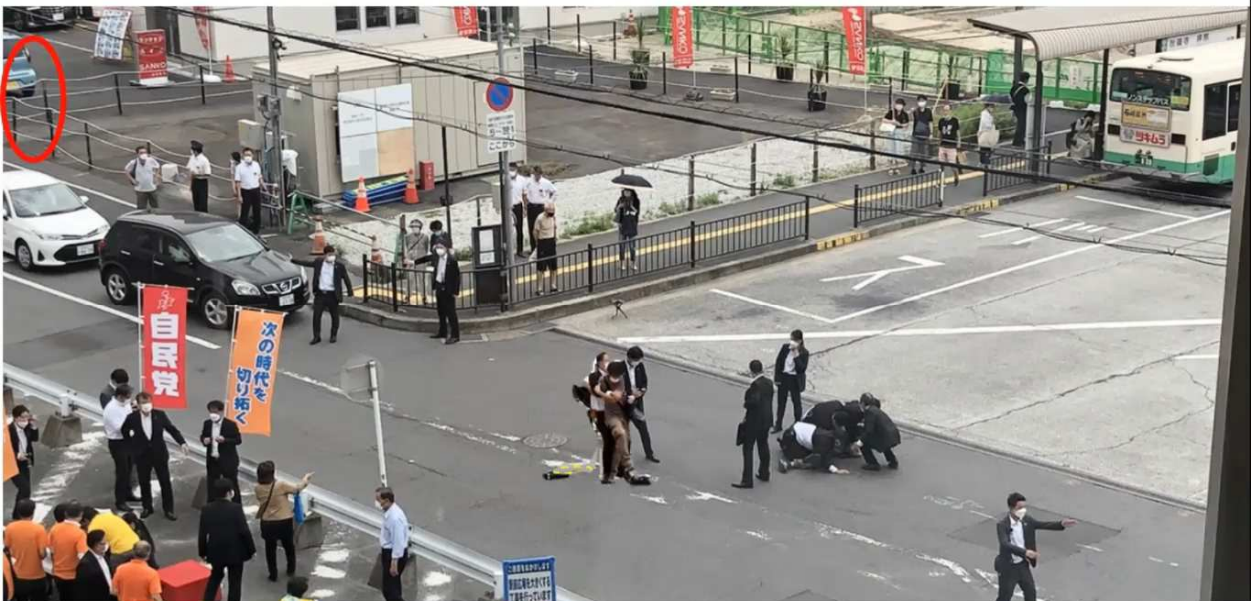
報道映像から山上の発砲位置を推定 (マンホールと県道中央線が起点に)



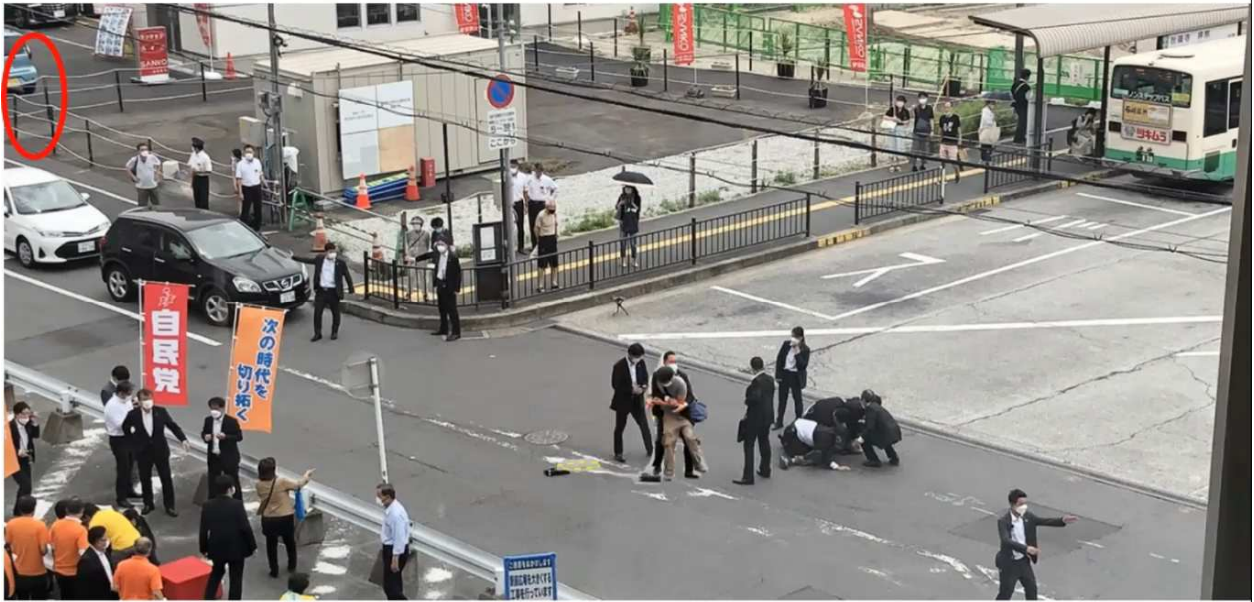
マンホールの位置を起点にして朝日新聞の山上の位置をプロットしてみます。（アングルの違いから、マンホールの位置をずらしてあります。）
（プロットその1）



（プロットその2）



マンホールの位置を起点にして朝日新聞の山上の位置をプロットしてみます。（アングルの違いから、マンホールの位置をずらしてあります。）
（プロットその3）



（プロットその4）



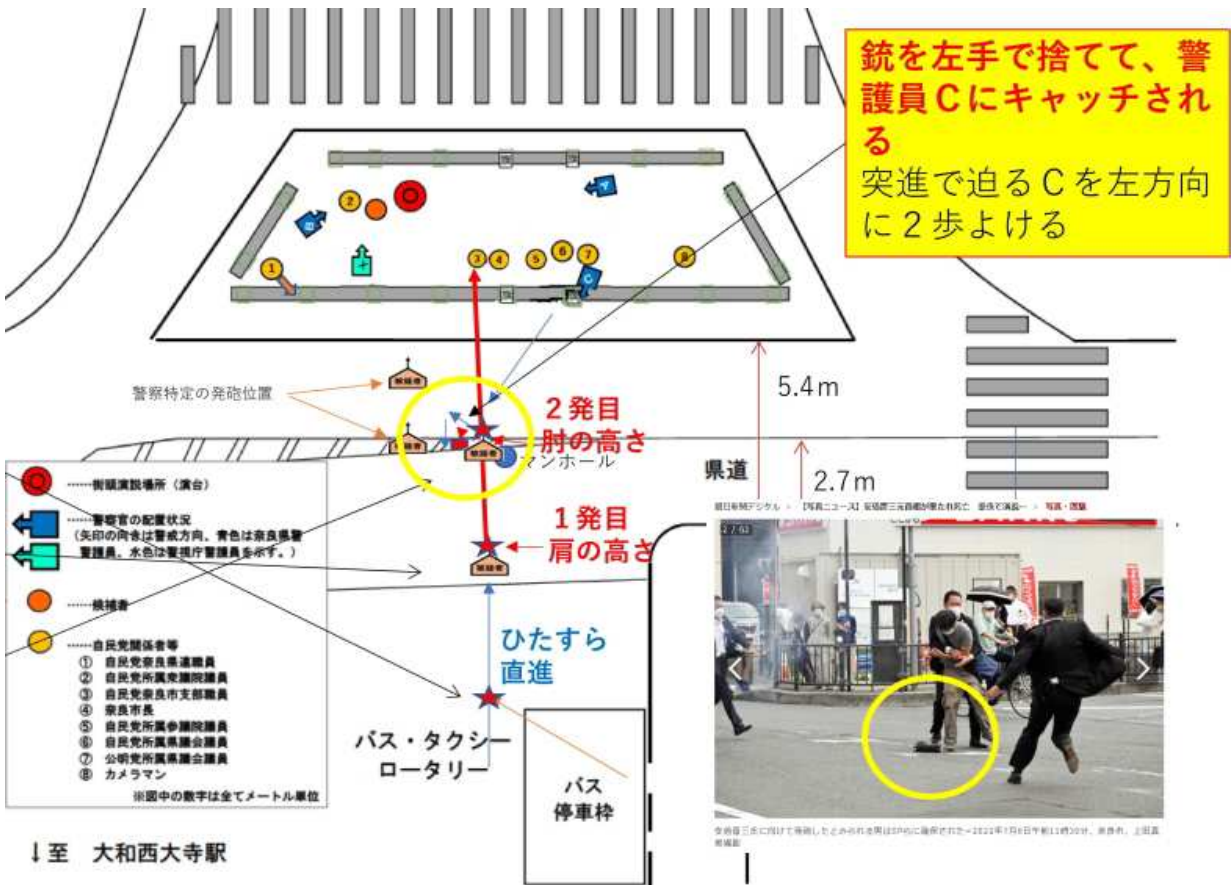
マンホールの位置を起点にして朝日新聞の山上の位置をプロットしてみます。（アングルの違いから、マンホールの位置をずらしてあります。）
（プロットその5）



警察庁報告書記載の発砲位置からでは実際の山上確保位置から大きくずれ、報告書が間違っていることが確定します。



ガードレール及び県道の東西ライン、山上進行ルート of 南北ライン及びマンホールの位置を起点にして、報道されている公開映像などを基に発砲位置を推定してきました。



山上の進行ルート、発砲位置を下記の通り特定します。

報道映像から山上の発砲位置を推定 (マンホールと県道中央線が起点に)

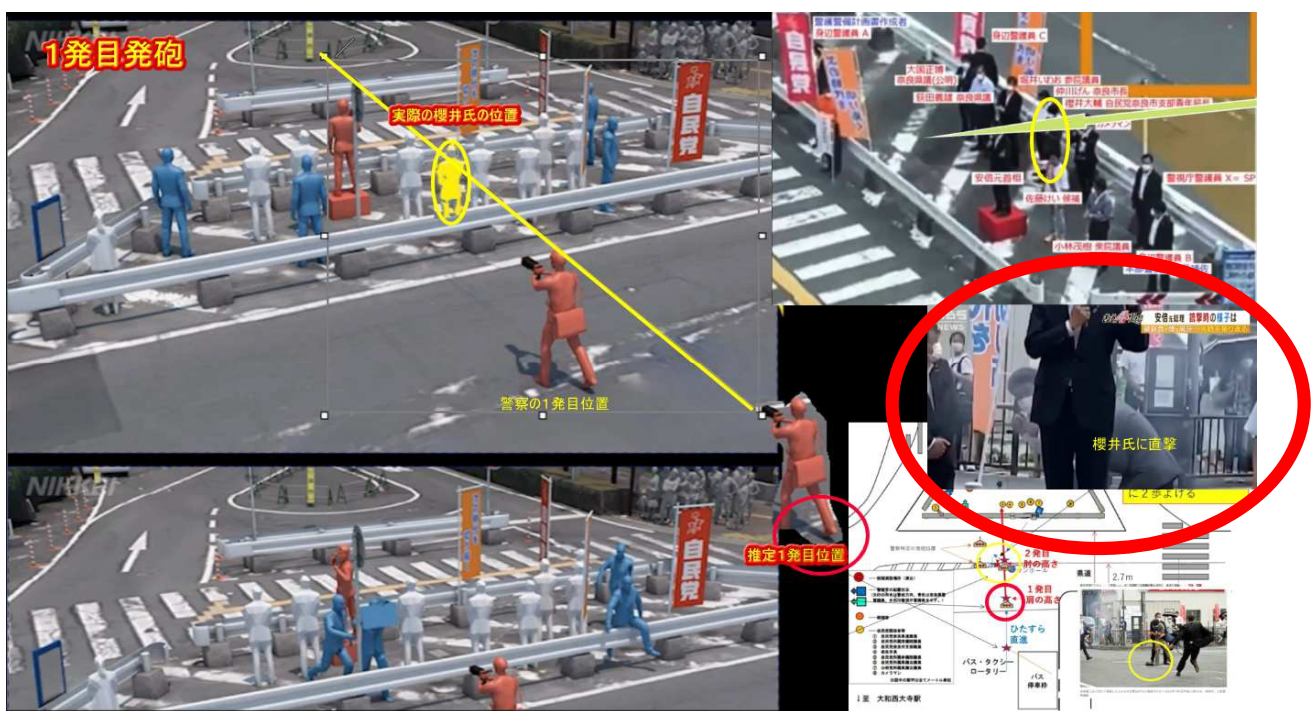
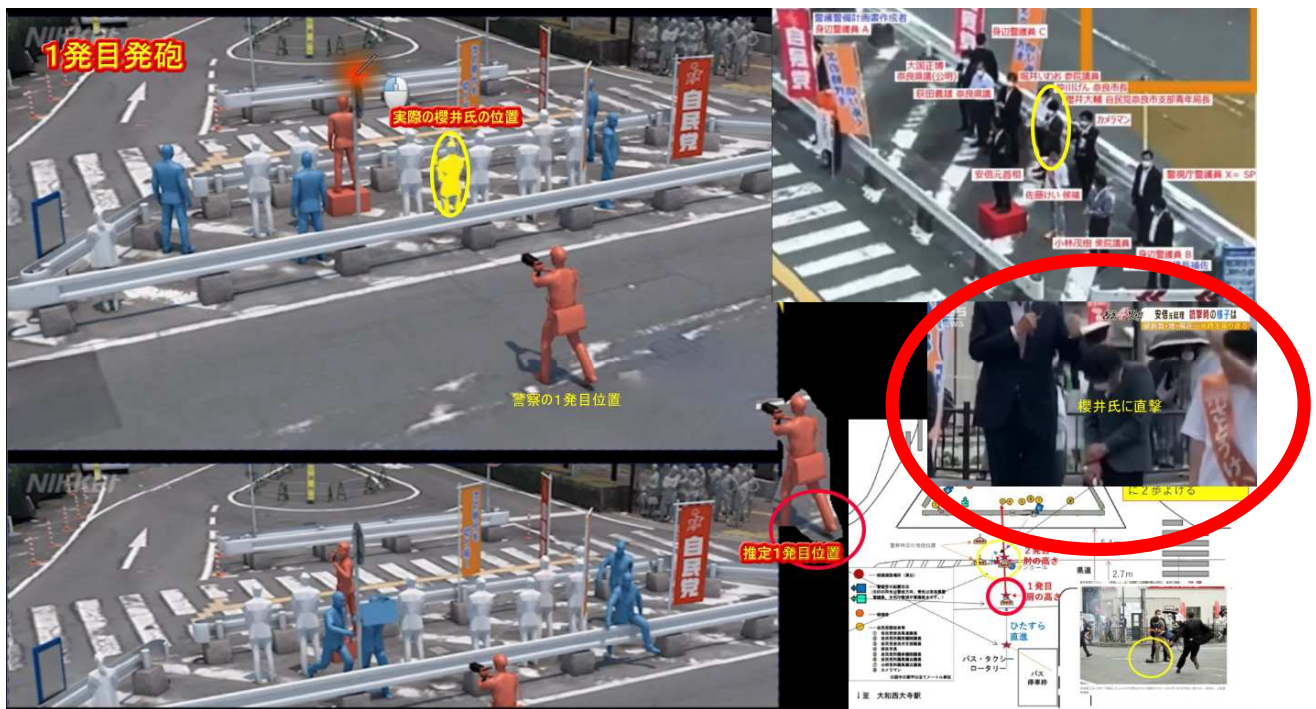


次に、山上手製銃の射線の考察に移ります。

山上手製銃の射線の考察になります。

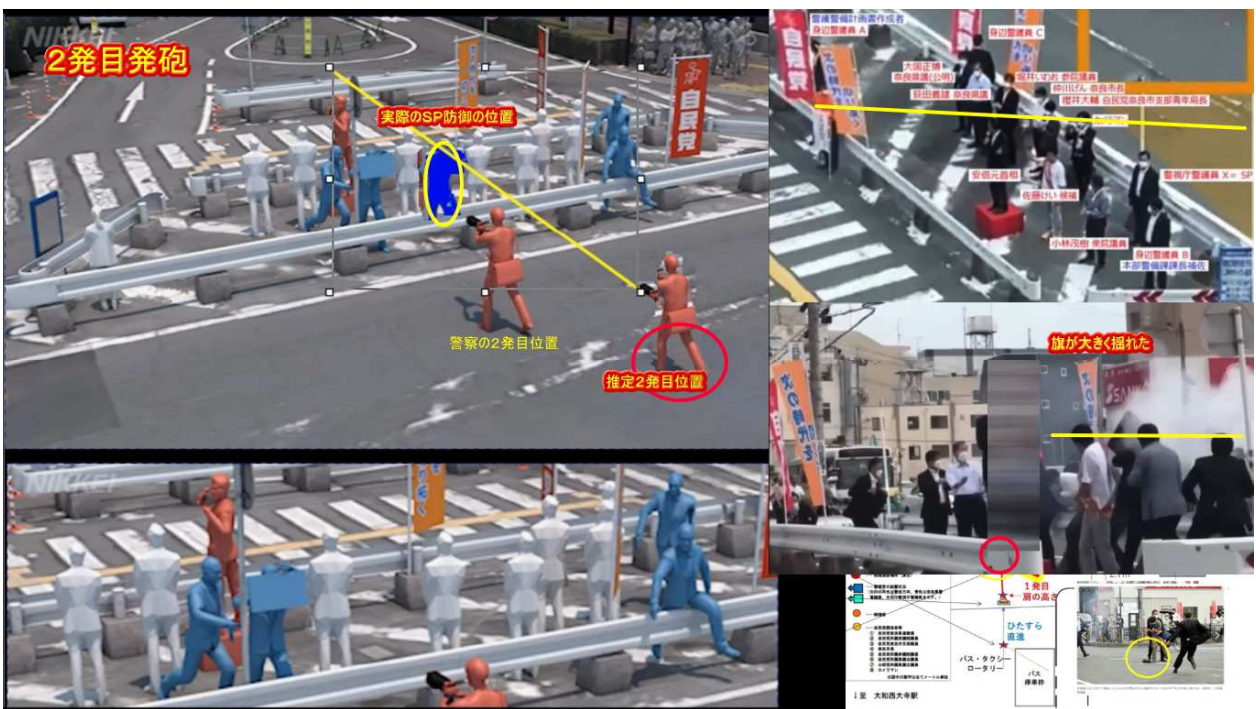
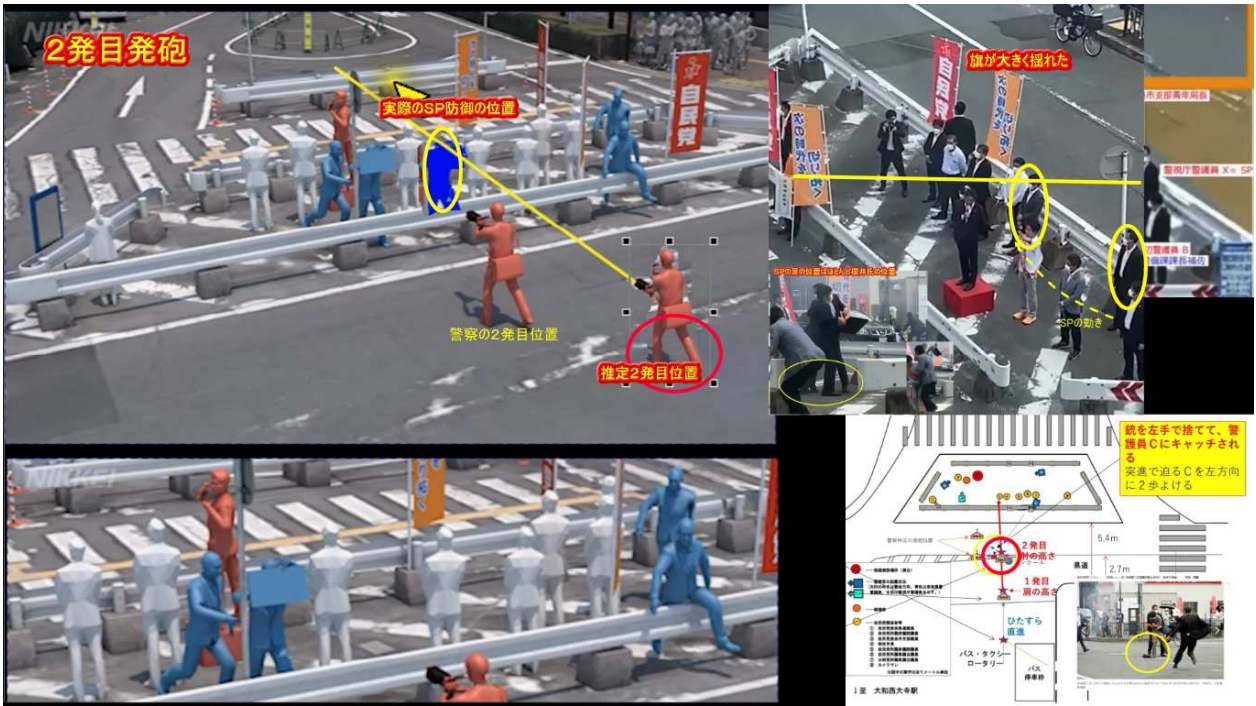
1 発目発砲時の現場のレイアウトを日経新聞の報道画像を引用して確認

1 発目の射線は櫻井氏に直撃していました。各画面中央右の報道映像で確認できます。

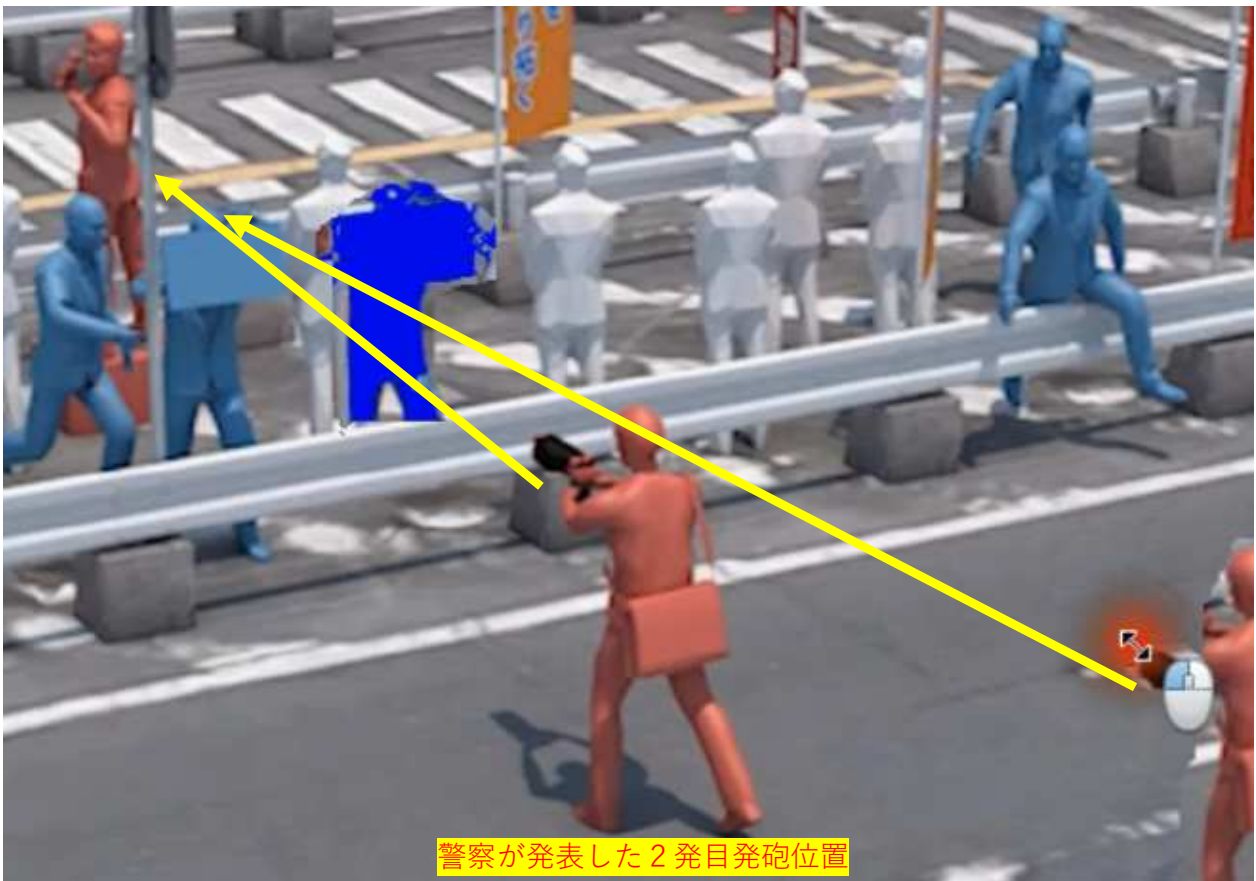
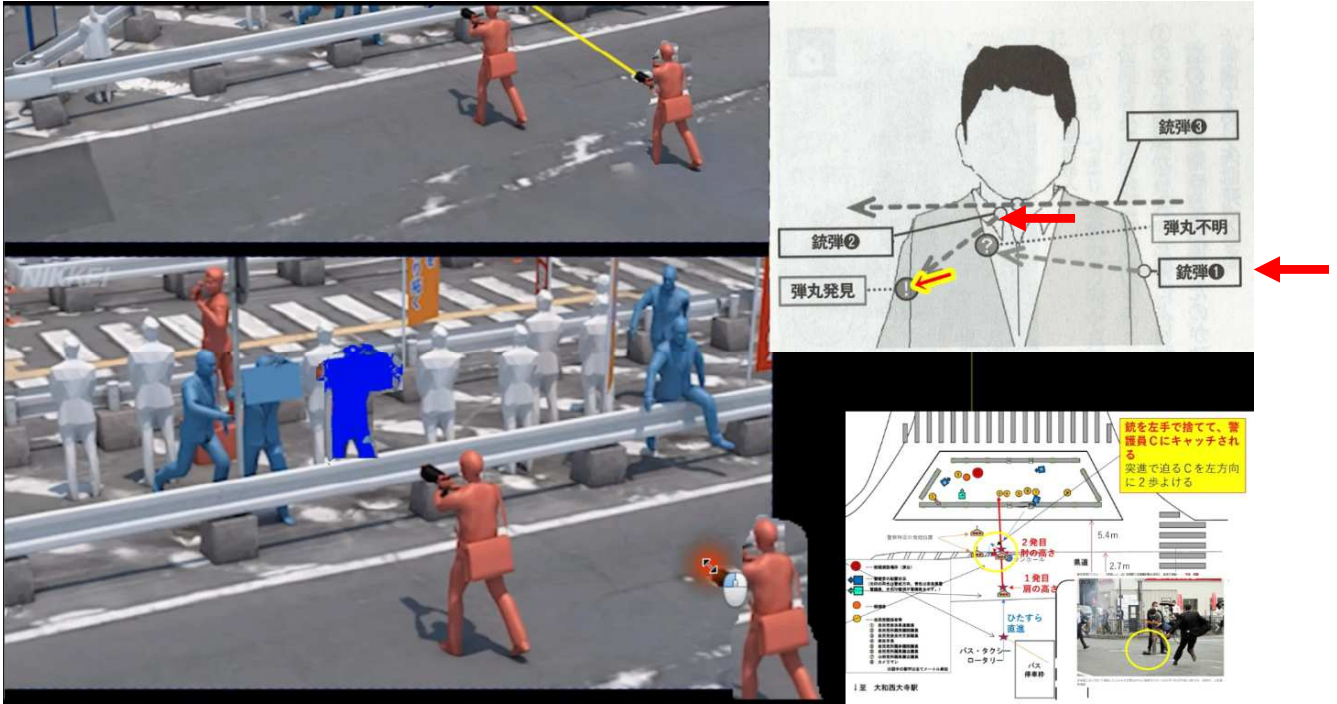


※奈良県警によると銃口から6発ずつの金属球の銃弾が発射されたとのこと

2発目の射線は1発目よりさらに東側（画面右方向）へずれていたのが推測されます。
 根拠は防護板で射線を遮っている警視庁SPの実際の位置と、2発目では櫻井氏の東側にある選挙のぼり旗が大きく揺れたこと。

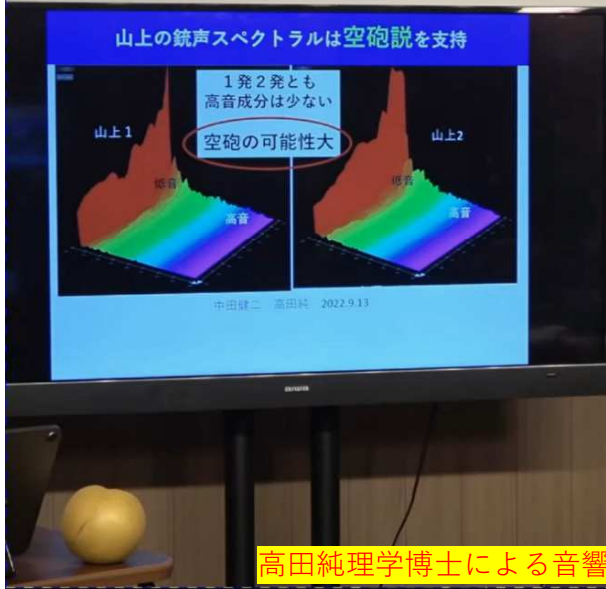


(補足1) 高鳥衆院議員も論文で説明していたとおり、警察が特定した2発目発砲位置からでは、左肩から射入し左右の鎖骨下動脈を損傷した弾道や右前頸部から射入し右上腕骨に至る弾道は物理的にあり得ません。

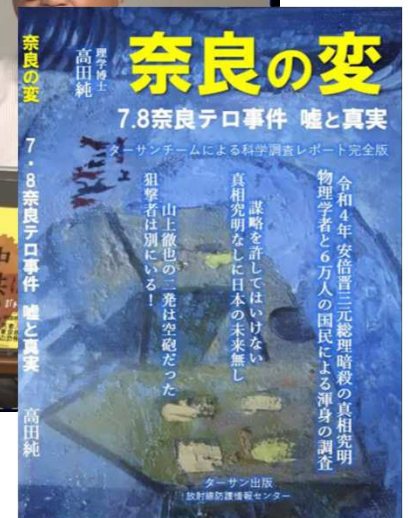


(補足2) 理学博士等の専門家によって、精度の高い音響解析が行われ、山上手製銃からの発砲音は2発とも空砲の特徴を示していると結論づけられています。

音解析より発砲2回とも空砲を証明



高田純理学博士による音響解析

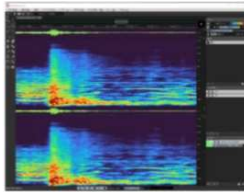


空砲は低音、実弾は高音

山上の銃は弾が... 爆音時間が短い。
 山上の銃を模したものは実弾があるので、銃身の中を弾が移動することで高周波から低周波迄多くの周波数成分を含み高圧ガスが銃身を移動することで爆音時

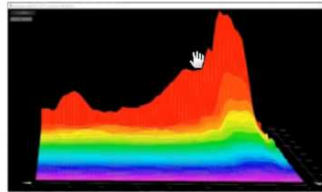


山上の銃



・爆音持続時間が短い

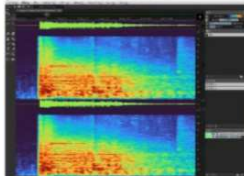
・高周波成分が弱い



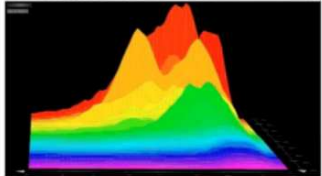
横軸：時間 縦軸：周波数
高さ方向：音圧レベルの強さ



山上の銃を模した銃



・爆音持続時間が長い
 ・高周波成分も強い



横軸：時間 縦軸：周波数
高さ方向：音圧レベルの強さ

安倍元首相を狙撃したのは
 本当に山上なのか？

中田健二氏による音響解析

その他PDF資料ダウンロードURL
 警察庁報告書検証レポート

<https://bit.ly/43U1wZb>

資料：山上からの銃弾が当たったのではないことの証明用

<https://bit.ly/3p9PcFn>

山上からの銃弾が 当たったのではない

山上銃は2発とも
空砲だった

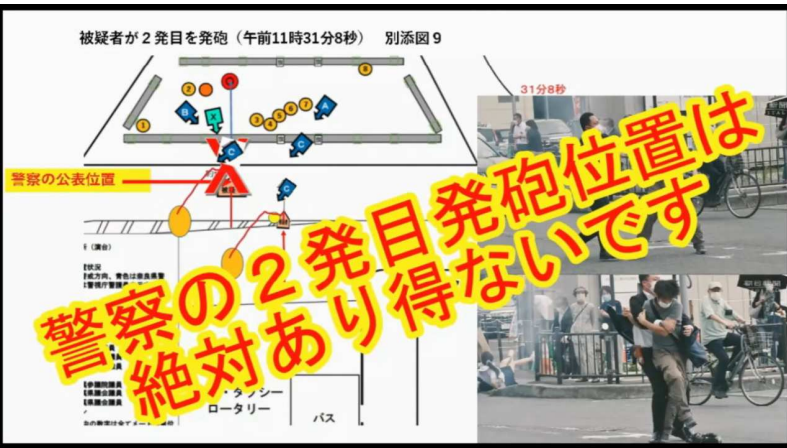


図解版

動画要約：

「山上からの銃弾が当たったのではないことの
証明用 単純つなぎ合
わせ_003826」

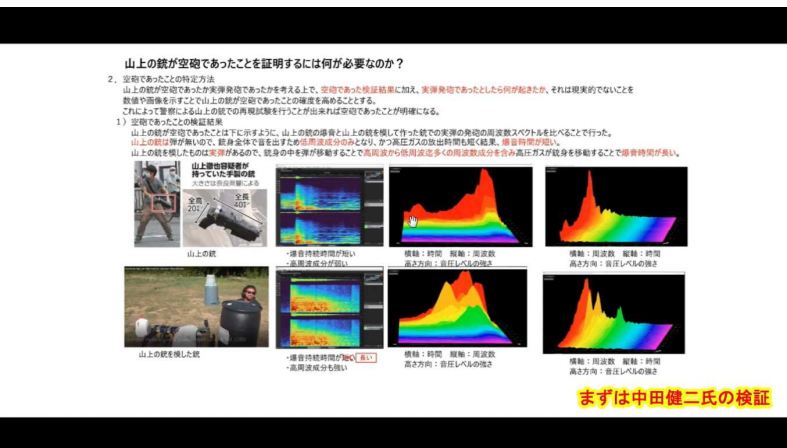
動画セクション



安倍元総理暗殺事件の警察庁報告書にありました山上の発砲位置、特に致命傷を与えたという2発目の発砲位置について検証していますが、どう検証しても、報告書にある発砲位置はあり得ないのです。



山上が警護員Cに確保された位置や銃を捨てた位置から、警察庁報告書にある2発目発砲位置は明らかに大きくずれていたことがわかります。



中田健二工学修士、高田純理学博士らによる発砲音の音響解析により、山上銃は2発とも空砲であることが証明されている。



動画セクション

安倍さんと選挙カー 立駐まで当たるのか？



警察庁報告書にある発砲位置と実際の推定発砲位置からの射線をシミュレーションしてみる。

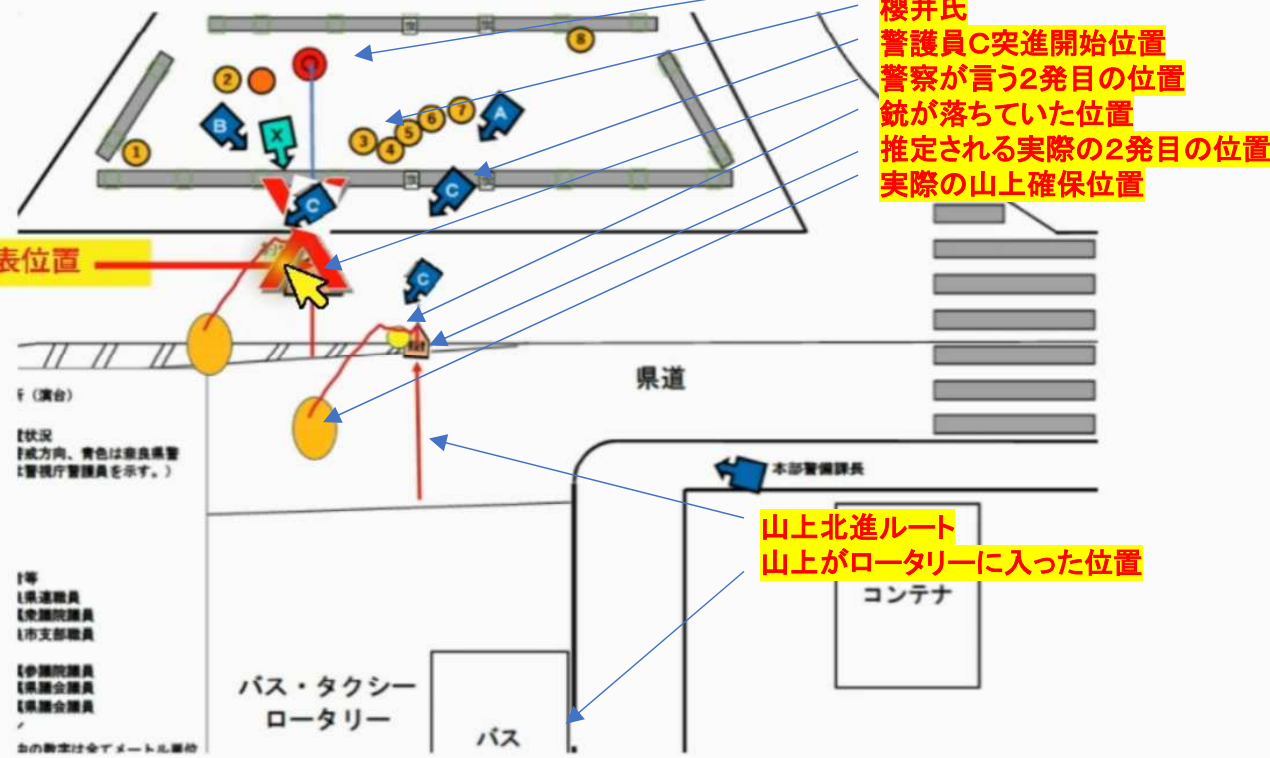


2発目発砲直後の煙の位置からも発砲位置が推定され、警察庁報告書が捏造されていることが裏付けされた。

以下、動画内の主要画像キャプションを参照しながら動画をご覧ください。

山上の動きを確認

被疑者が2発目を発砲（午前11時31分8秒） 別添図9



安倍さん
櫻井氏
警護員C突進開始位置
警察が言う2発目の位置
銃が落ちていた位置
推定される実際の2発目の位置
実際の山上確保位置

2発目直前シーン



警察庁報告書は正しいのか？

2発目発砲後に警護員Cが飛びかかるシーン



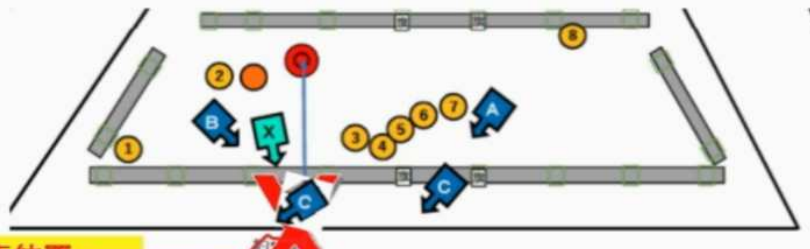
筒のような物を持ったやつがいる

銃を捨てる

山上が警護員Cからよける方向が西方向なのに注目

ガードレールライン
東西ライン

被疑者が2発目を発砲（午前11時31分8秒） 別添図9



警察の公表位置

①警察の北進ルート

【状況】
【状況】成方向、青色は奈良県警
【監視庁警護員を示す。】

②実際の北進ルート

1等
1 県道職員
1 警護院職員
1 市支部職員

県道

本部警備課長

コンテナ



警護員C

中継 安住 一 警護員Cと山上

2-3歩先でから 確保された位置

警察庁報告書にある 2発目発砲位置??

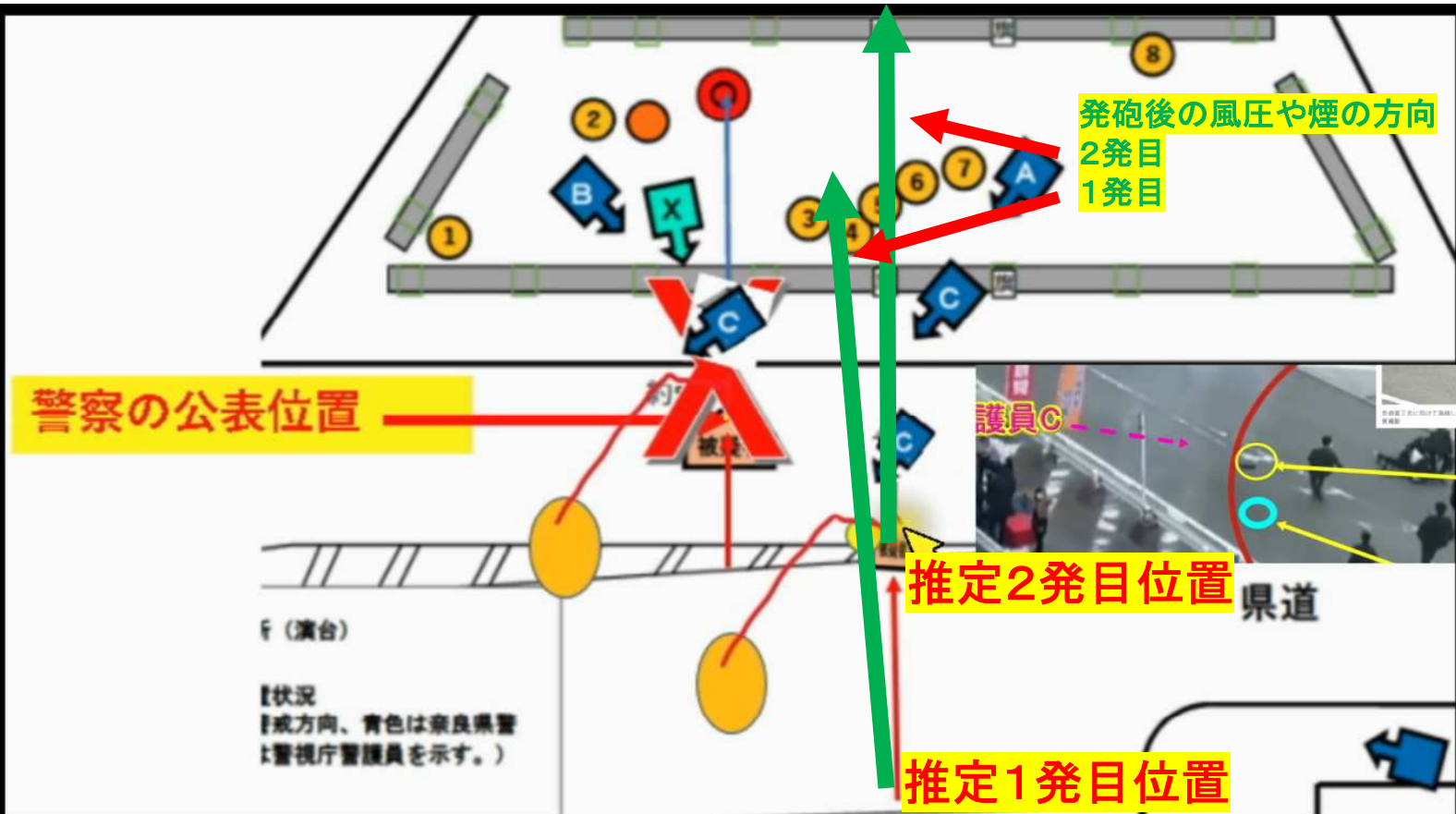
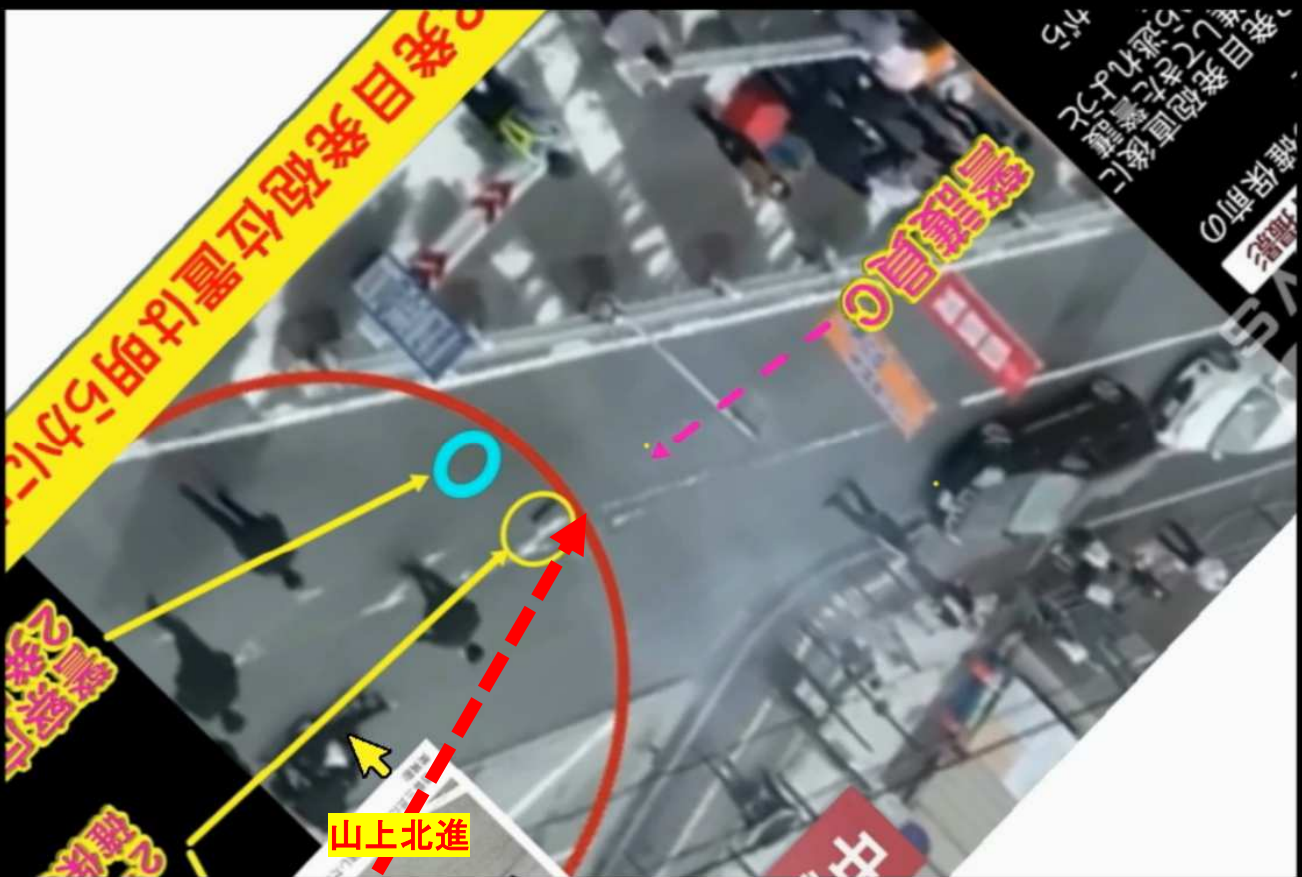
①と②のどちらが正しいのか？

発砲後の動き検証



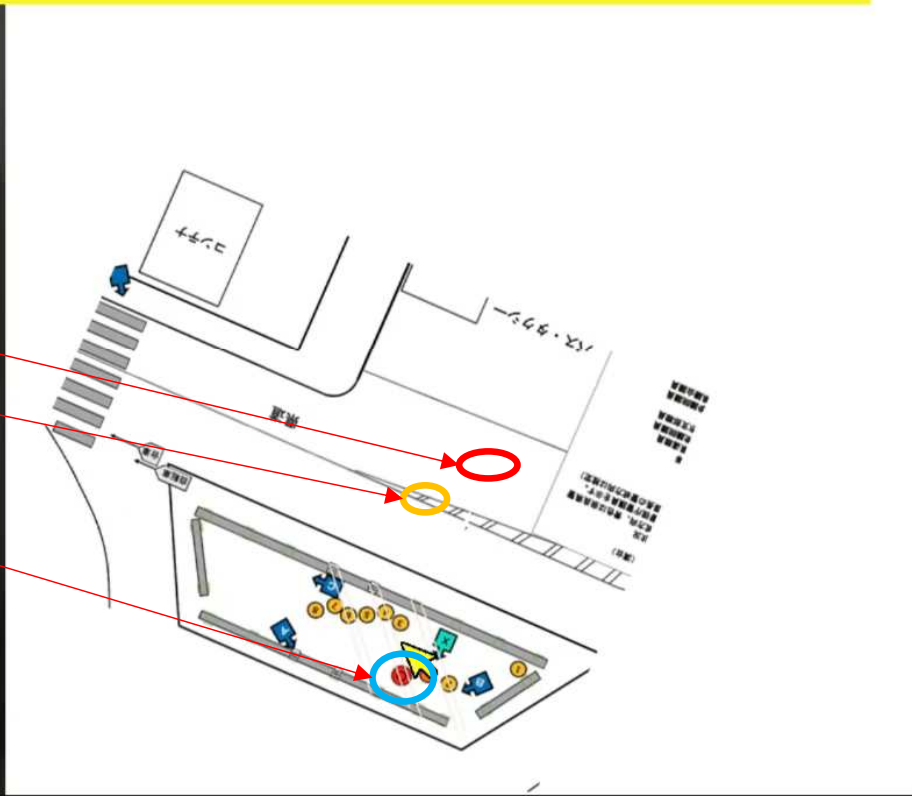
警察庁報告書の2発目発砲位置は明らかにウソ・捏造！

実際の発砲位置を推定

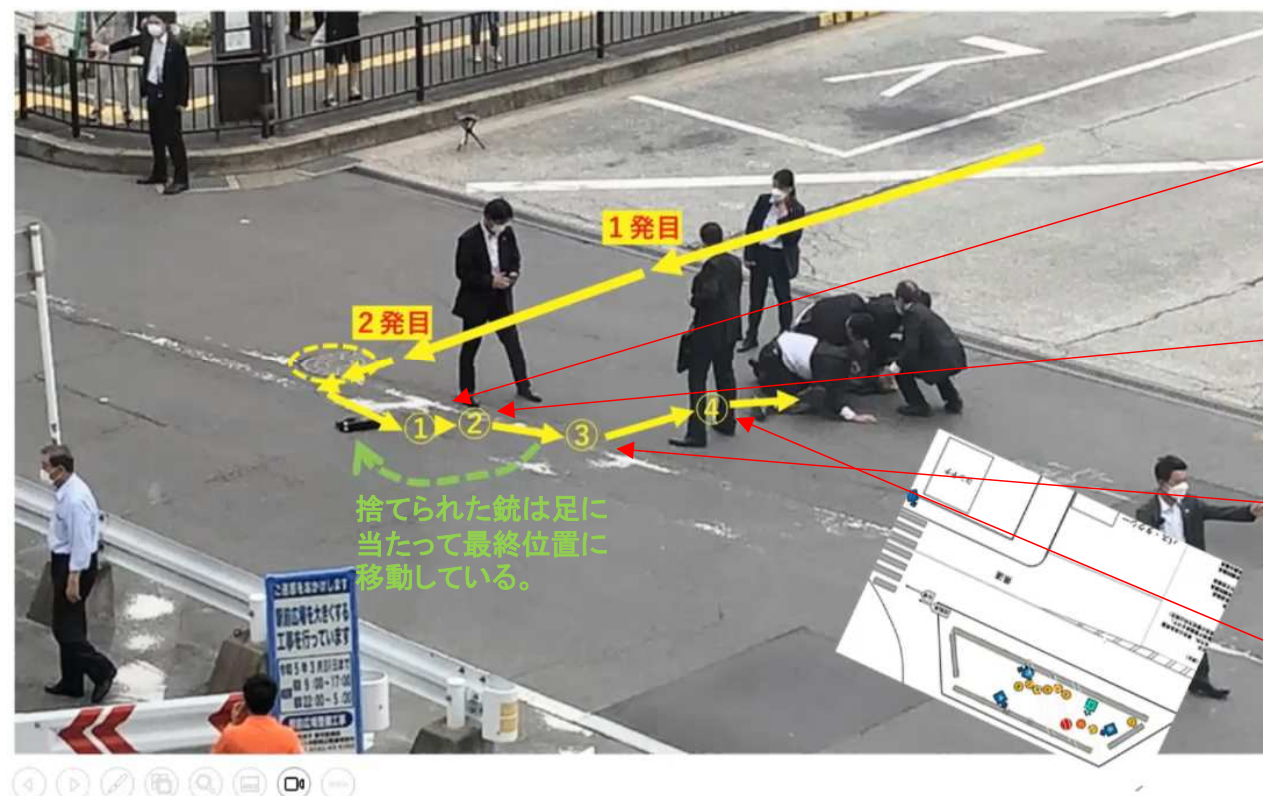


朝日新聞記者の写真から推定

山上発砲位置を朝日新聞報道写真より推定



報道映像から山上の発砲位置を推定 (マンホールと県道中央線が起点に)



検証の起点はマンホール

下記写真は右の朝日新聞写真より高い位置から撮影
マンホール



朝日新聞の山上の写真は低い位置から撮影
マンホール



マンホールの位置を起点に
して山上画像を移動させる
シミュレーション
画角の違いによるズレに注
意



アングルの違いでマン
ホールの形と位置に差異
があることに留意。
マンホール位置を固定し
ながら山上画像を移動さ
せる

↑
マンホール固定



実際の推定位置からコマ送り



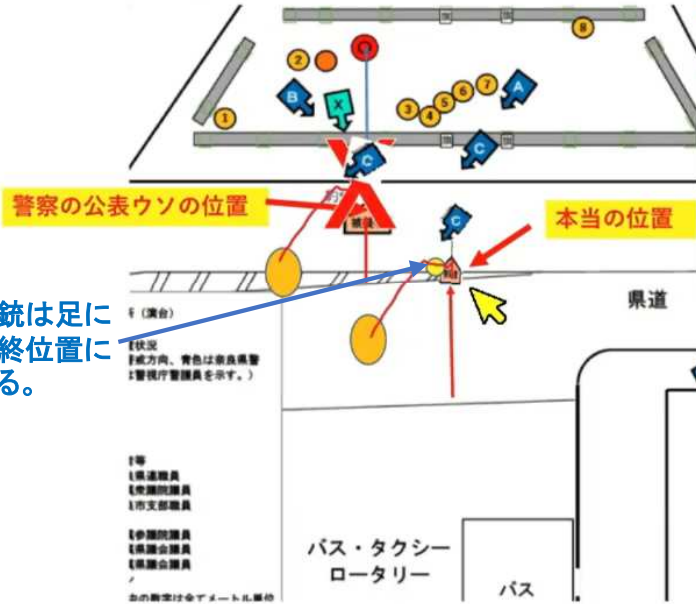
実際の推定位置からコマ送り



次に警察位置から検証

警察庁報告書の事実捏造

被疑者が2発目を発砲（午前11時31分8秒） 別添図⑨



報道映像から山上の発砲位置を推定（マンホールと国道中央線が起点に）



捨てられた銃は足に当たって最終位置に移動している。



警察の位置からコマ送り

警察庁報告書にある2発目発砲位置でシミュレーション



警察の位置からコマ送り



実際の確保位置に大きなズレ



警察の位置からなら安倍さん、選挙カー、立駐が一直線？

1 発目は肩の高さから櫻井氏へ



2発目は肘の高さからさらに東

山上2発目発砲

安倍さん

山上



山上2発目発砲方向



1 発目は櫻井氏に直撃



2発目はさらに櫻井氏より東へ



安倍氏の東側の旗が揺れた



旗が大きく揺れる



射線が1発目より東にずれた



こちらの旗も

旗が大きく揺れる



射線が1発目より東にずれた

まったく当たっていない！

旗が大きく揺れる



射線が1発目より東にずれた

発砲音の音響解析

山上の銃が空砲であったことを証明するには何が 필요한のか？

2. 空砲であったことの特定方法

山上の銃が空砲であったか実弾発砲であったかを考える上で、**空砲であった検証結果**に加え、**実弾発砲であったとしたら何が起きたか**、それは現実的でないことを数値や画像を示すことで山上の銃が空砲であったことの確度を高めることとする。

これによって警察による山上の銃での再現試験を行うことが出来れば空砲であったことが明確になる。

1) 空砲であったことの検証結果

山上の銃が空砲であったことは下に示すように、山上の銃の爆音と山上の銃を模して作った銃での実弾の発砲の周波数スペクトルを比べることで行った。

山上の銃は弾が無いので、銃身全体で音を出すため**低周波成分のみ**となり、かつ高圧ガスの放出時間も短く結果、**爆音時間が短い**。

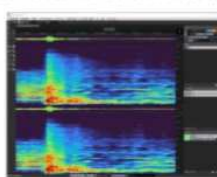
山上の銃を模したものは**実弾**があるので、銃身の中を弾が移動することで**高周波から低周波迄多くの周波数成分**を含み高圧ガスが銃身を移動することで**爆音時間が長い**。



山上徹也容疑者が持っていた手製の銃

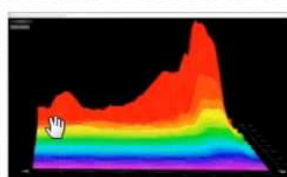


山上の銃



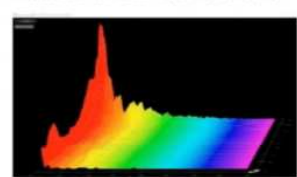
・爆音持続時間が短い

・高周波成分が弱い



横軸：時間 縦軸：周波数

高さ方向：音圧レベルの強さ

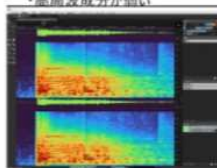


横軸：周波数 縦軸：時間

高さ方向：音圧レベルの強さ

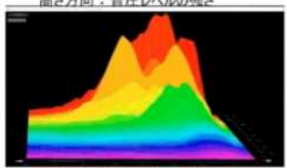


山上の銃を模した銃



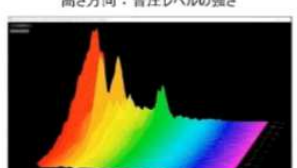
・爆音持続時間が**長い**

・高周波成分も強い



横軸：時間 縦軸：周波数

高さ方向：音圧レベルの強さ



横軸：周波数 縦軸：時間

高さ方向：音圧レベルの強さ

まずは中田健二氏の検証

音響解析は中田氏と高田博士

空砲は低音、実弾は高音

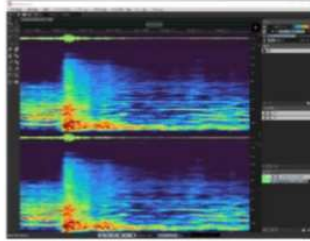
山上の銃は弾が... 爆音持続時間が短い。
 山上の銃を模したものは実弾があるので、銃身の中を弾が移動することで高周波から低周波迄多くの周波数成分を含み高圧ガスが銃身を移動することで爆音時



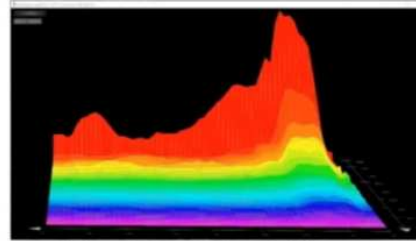
山上徹也容疑者が持っていた手製の銃
大きさは奈良県警による



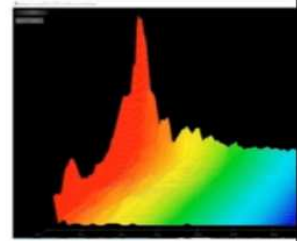
山上の銃



・爆音持続時間が短い
 ・高周波成分が弱い



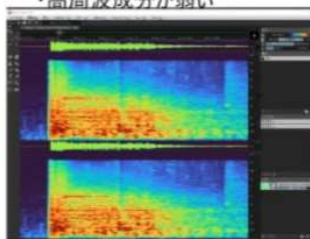
横軸：時間 縦軸：周波数
 高さ方向：音圧レベルの強さ



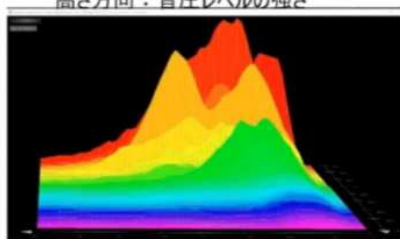
横軸：周波数 縦軸：高さ方向：音圧レベルの強さ



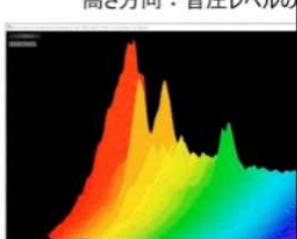
山上の銃を模した銃



・爆音持続時間が長い
 ・高周波成分も強い



横軸：時間 縦軸：周波数
 高さ方向：音圧レベルの強さ



横軸：周波数 縦軸：高さ方向：音圧レベルの強さ

山上の銃声スペクトラルは空砲説を支持

空砲だと波長は長くなる → 銃声は低音になる

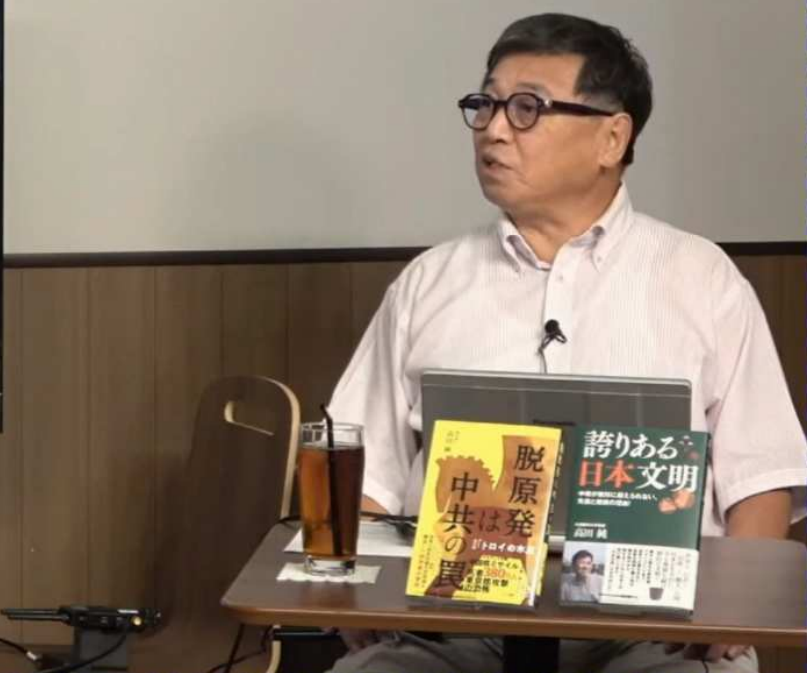
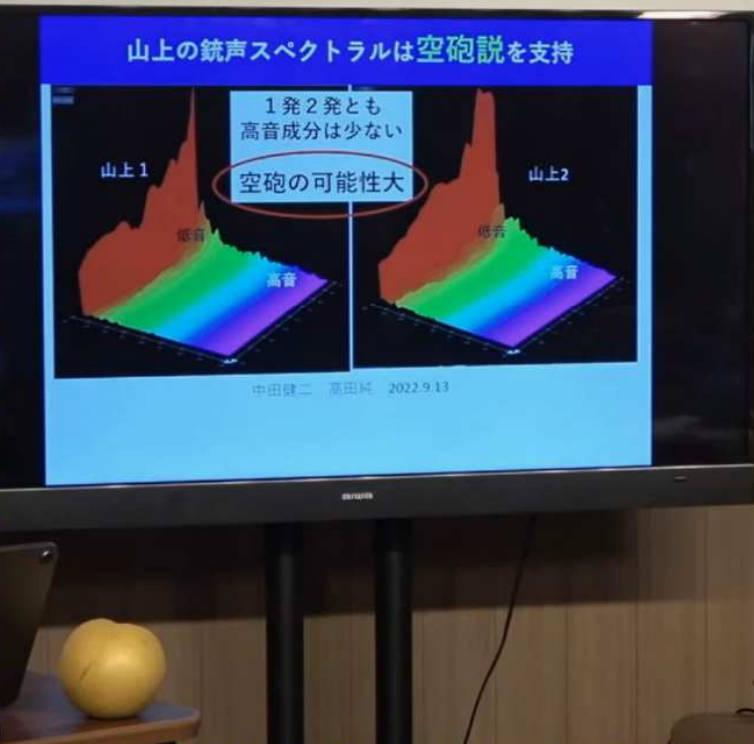
高田純 中田健二 2022.9.13

山上パイプ銃 発砲2 低音 ショットガン空砲 低音

中田健二 高田純 2022.9.13

次は高田純氏の検証

音解析より発砲2回とも空砲を証明



銃の反動も確認、なかった。

発砲時の銃の反動もなかった



いわゆる「銃の跳ね上がり」だけ

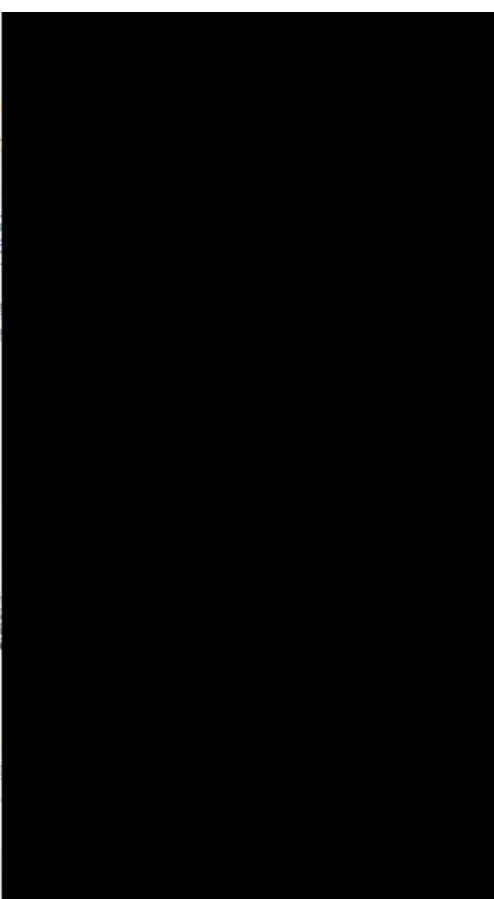
安倍さんと選挙カー 立駐まで当たるのか？



1発目射線のシミュレーション

警察1発目位置
選挙カーと立駐に当たる

ケース1
 警察1発目
 銃口を安倍さんへ



警察1発目位置

櫻井氏に当たる選挙カー、立駐当たらず

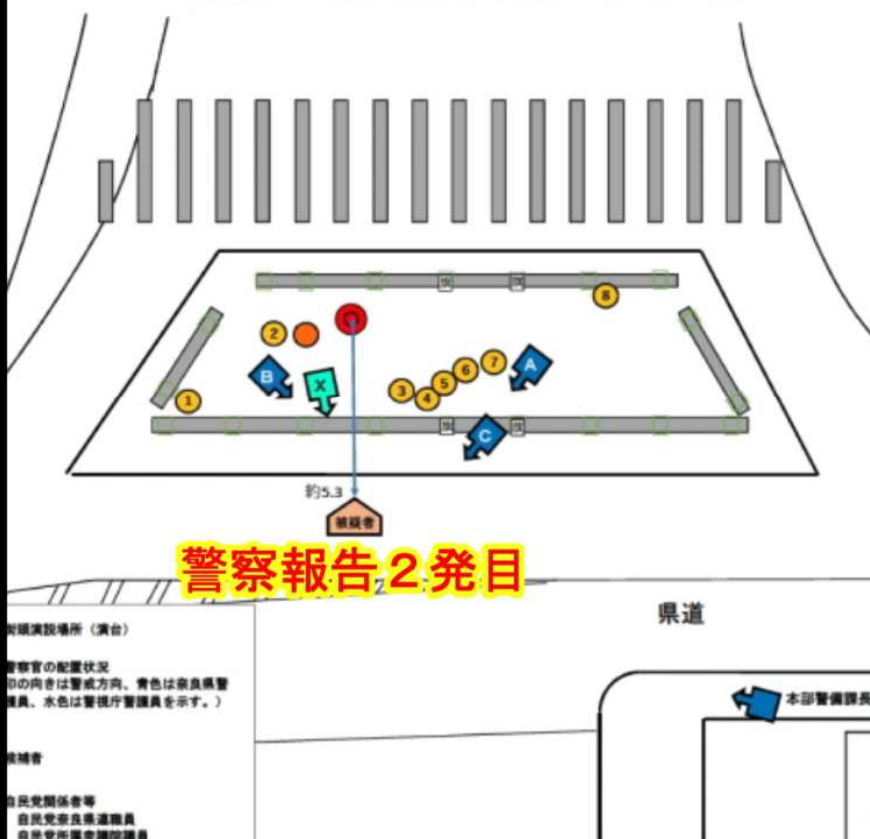
ケース2
警察1発目
銃口を映像通りに



映像で確認できる銃口の方向

2発目射線のシミュレーション

被疑者が2発目を発砲（午前11時31分8秒）



警察2発目位置

選挙カーと立駐に当たる

ケース3
警察2発目
銃口を安倍さんへ



警察2発目位置

**櫻井氏より東にずれる
選挙カー、立駐当たらず**

ケース4
警察2発目
銃口を映像通りに

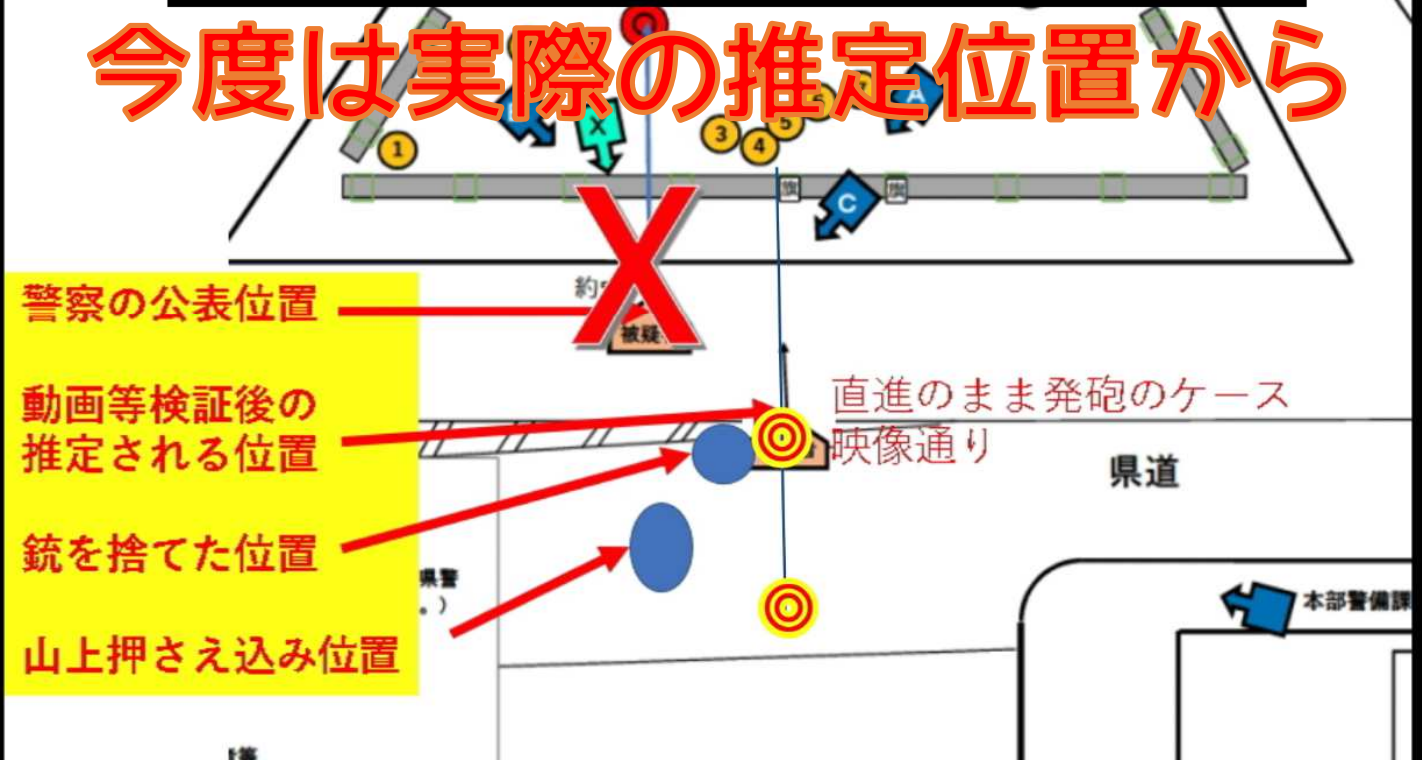


映像で確認できる銃口の方向

被疑者が2発目を発砲（午前11時31分8秒） 別添図9

検証で推定される発砲位置からは？

今度は実際の推定位置から



1 発目射線のシミュレーション

検証1発目位置

立駐には当たらない

ケース1
実際の1発目
銃口を安倍さんへ



検証1 発目位置

櫻井氏に当たる
選挙カー、立駐当たらず

ケース2
実際の1発目
銃口を映像通りに



映像で確認できる銃口の方向

検証2 発目位置

サンワビルに当たる
選挙カー、立駐当たらず

ケース3
実際の2発目
銃口を安倍さんへ



検証2発目位置

関係者に当たる
選挙カー、立駐当たらず

ケース4
実際の2発目
銃口を映像通りに



映像で確認できる銃口の方向

進行方向（南北）ガードレール（東西）ライン付加

空砲の射線は
安倍氏より
東側の関係者方向に
向けられている

再度、山上の動きを確認

進行方向（南北） ガードレール（東西） ライン付加



2発目近辺のヨマ1 2枚を連続再生



2発目近辺のコマ1 2枚を連続再生 次は高さを調整したもの



煙の漂いから発砲位置推定

MBS
NEWS

安倍元総理 狙撃され心肺停止



視聴者提供

警察発砲位置はやはり捏造か

「尋常じゃない音が聞こえた」安倍元総理が銃撃され心肺停止 生命が危ぶまれる状況（2022年7月8日）

安倍元総理 狙撃され心肺停止

NEWS

サンワシティ4Fエレベーター脇スペースから撮影

視聴者提供



**安倍さんには山上からの銃弾は
当たっていなかった。**

**山上銃は2回の発砲とも
空砲だった。**

2023年6月20日作成動画

「山上からの銃弾が当たったのではないことの証明用 単純つ
なぎ合わせ_003826」

<https://youtu.be/VYlaHZjLK0M>

安倍元総理暗殺事件真相究明・検証用の動画公開チャンネル
「ihelper1002」

<https://www.youtube.com/@ihelper1002>

関連ツイート

「井上文二」

https://twitter.com/bunji_inoue

その他重要動画

「警察庁報告書検証レポート全体 更新版2023年3月」

動画 <https://youtu.be/hLcdK-OpYcl>

レポートPDF <https://bit.ly/43U1wZb>

安倍総理事件検証解説書 3 イン 1

(下記解説動画のレジメ資料です)

動画 1 → <https://youtu.be/hLcdK-OpYcI>

資料Page 1

動画 2 → <https://youtu.be/VY2BC711qTE>

資料Page 23

動画 3 → <https://youtu.be/VYIaHZjLKOM>

資料Page 40

令和 4 年 7 月 8 日に奈良市内において実施された安倍
晋三元内閣総理大臣に係る警護についての検証及び警
護の見直しに関する報告書

令和 4 年 8 月
警 察 庁

安倍元総理暗殺事件 警察庁報告書の矛盾点

公開されている映像証拠をもとに
重要部分を検証してみました。

上記報告書ダウンロードは
<https://bit.ly/43fpuNC>

本レポートの解説動画は
<https://youtu.be/hLcdK-OpYcI>

1

1

(4) 安倍元総理の到着後の状況 **午前11時31分6秒 1発目発砲音**

P13

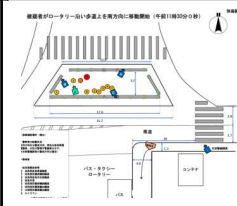
警備課長は不審
者を見つける役
目ではないのか？

7月8日午前11時17分8秒頃、本部警備課長は、安倍元総理の到着直前に、バス・タクシーロータリー内の一番北側のバス停車枠の北東部の歩道角に移動し、同場所において、本件遊説場所の南側を中心として、安倍元総理の降車時に備えて警戒を開始した。同時刻、被疑者も同歩道角に移動してきた。この時、本部警備課長は、被疑者の佇立場所から1～2メートルほど離れた同歩道角にいたが、被疑者に着目することはなかった。

午前11時17分43秒頃、大阪府内から車両で移動していた安倍元総理は、本件遊説場所の北西側道路上に到着した。身辺警護員A、B及びC並びに警視庁警護員Xは、降車した安倍元総理の周囲を警戒しながら、ゼブラゾーンの北西側から本件遊説場所へ誘導した。

午前11時18分14秒頃、身辺警護員A及びB並びに警視庁警護員Xは、安倍元総理と共に本件遊説場所（ガードレールの内側）に到着した。

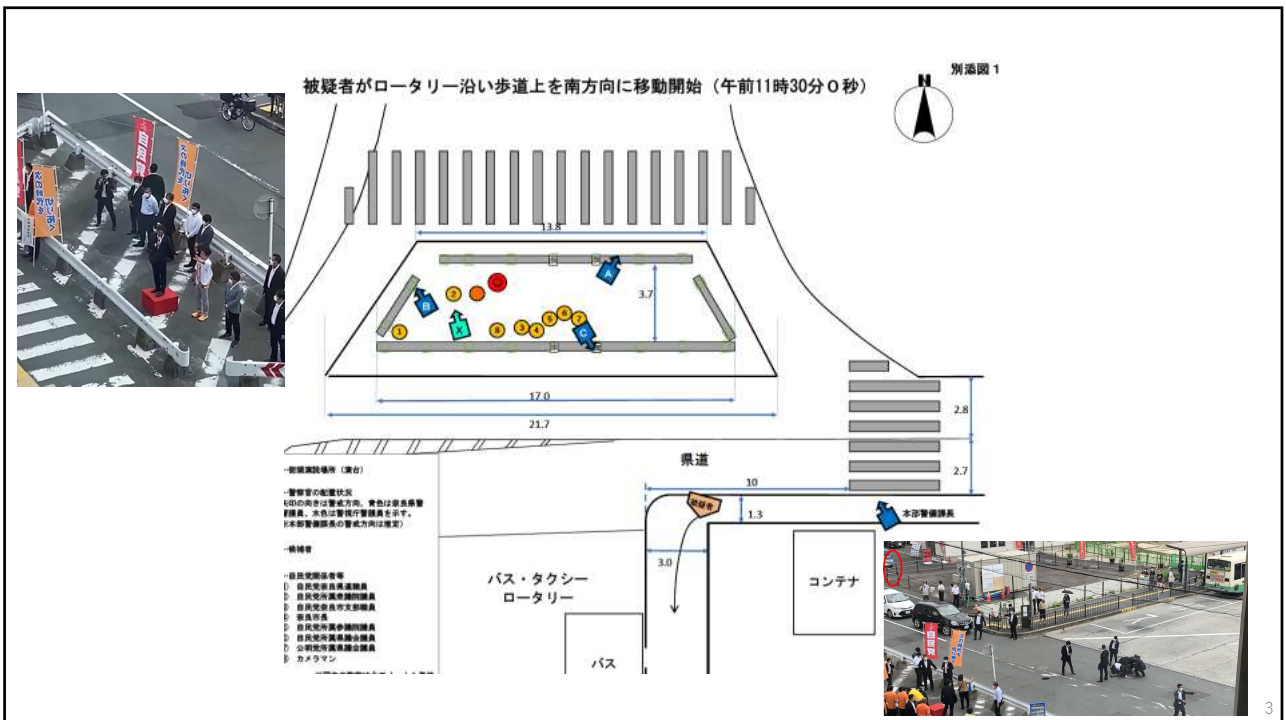
安倍元総理到着時 身辺警護員Aは 本件警護警備計画書上 身辺警護員Cが配



2

本資料は上記3つの解説動画で使用されたものをそのままPDF化したものです。奈良県立医大福島教授会見全文も最後尾に付録。該当解説動画を視聴される際に参照いただければ幸いです。（井上文二）

1



3



4



5



6

P13

午前11時18分14秒頃、身辺警護員A及びB並びに警視庁警護員Xは、安倍元総理と共に本件遊説場所（ガードレールの内側）に到着した。

安倍元総理到着時、身辺警護員Aは、本件警護警備計画書上身辺警護員Cが配置されていた県道のゼブラゾーン上のガードレールの北東部（ガードレールの内側）で主として本件遊説場所の北西側及び北東側歩道上の聴衆の動向の警戒を開始したことから、身辺警護員Cは、午前11時18分22秒頃から、6月25日警護時と同様に、本件遊説場所南側の県道のゼブラゾーン上（ガードレールの南東部・外側）で主として南方向への警戒を開始した。午前11時31分6秒 1発目発砲音

警護員Cはガードレールの南西部・外側にいた写真あり

被疑者は、安倍元総理が本件遊説場所に到着した後、バス・タクシーロータリー内の一番北側のバス停車枠の北東部の歩道角で午前11時18分52秒頃には拍手をするなどしながら、本件遊説場所方向を見て佇立していた。佇立する被疑者の周辺では、被疑者以外にも、複数の通行人等がショルダーバッグ、リュックサック等を携行して、往来し、又は立ち止まっていた。

6月25日茂木幹事長演説

身辺警護員B及び警視庁警護員Xは、本件遊説場所の北西側及び北東側



← 警護員Cの位置が違う →



7

17:05 8月24日(水)

mainichi.jp

62%



6月25日

7月8日

8

8

P14

ガードレール外側が危ないからと、唯一担当していた南側監視の重要任務をやめさせる？

この後、午前11時26分頃までの間に、身辺警護員Aは、本件遊説場所南側の県道のゼブラゾーン上（ガードレールの外側）で主として本件遊説場所の南方向を警戒していた身辺警護員Cに対して、同人が県道上を通行する車両と接触する危険及び身辺警護員Cを避けようとして県道上を通行する自転車と自動車とが接触する危険を防止するため、ガードレールの内側に移動するよう指示するとともに、本件遊説場所の北東側及び東側歩道上に数多くの聴衆が集まっていたことから、これらの聴衆の動向に対する警戒を強化する必要があると判断し、身辺警護員Cに対して、本件遊説場所の東側歩道上の聴衆の動向を警戒するよう直接指示した。

これを受け、身辺警護員Cは、ガードレールの内側に移動し、本件遊説場所の南方向への警戒を行いつつも、主として本件遊説場所の北東側及び東側歩道上の聴衆の動向に対する警戒を開始した。

本部警備課長は、当初、身辺警護員Cが本件遊説場所南側の県道のゼブラゾーン上（ガードレールの外側）で警戒している状況を認識しており、その後、ガードレールの内側で警戒している状況も視認していた。



9

9



10

午前11時31分6秒
1発目発砲音

警護員Cは何度も南を警戒しており、山上に気づかないのはあり得ないのでは？

【図1参照】。この時、同歩道角には、4人の男女が本件遊説場所方向を写真撮影するなどしていたほか、日傘を差すなどした複数の人が立っていた。

身辺警護員Cは、午前11時29分50秒頃、同29分59秒頃から同30分1秒頃にかけて南東方向に顔を向け警戒するとともに、同30分2秒頃から同6秒頃にかけて南西方向から南東方向に顔を向け警戒していた。また、同30分8秒頃から同17秒頃までは東方向に顔を向け警戒し、同18秒頃から22秒頃まで南方向を再び警戒していた。

午前11時30分25秒頃から同29秒頃にかけて、自転車に乗車した女性1名が県道をバス・タクシーロータリーに沿って西進した際、身辺警護員Cは、同27秒頃から南方向に顔を向け警戒していた。同30分39秒頃には工事用車両が、同43秒頃には普通自動車安倍元総理の演台付近を東進して通過した際も、身辺警護員Cは、南西方向に顔を向け警戒していた。

午前11時30分43秒頃から同31分5秒頃にかけて、自転車に乗車した男性1名（以下「自転車男性」という。）が本件遊説場所南側の県道のゼブラゾーン上（ガードレールの外側）を西から東方向に低速で移動し、同30分51秒頃には県道のゼブラ

P16



11

11

この画像はガードレール内と県道・駅舎側及び手前の聴衆部分が合体されたものと判断されますので注意して参照ください。



安倍晋三元首相の街頭演説に集まった大勢の聴衆。左端は山上徹也容疑者=2022年7月8日、目撃者提供の動画からパノラマを作成（画像の一部を加工しています）

警護員Cは別映像で1発目の1秒前から山上方向を向いていた事実が判明しています。

+

12

12

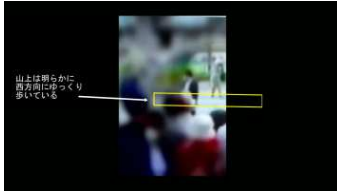
を差し入れた。警視庁警護員Xは、自転車男性及び台車男性が通過した同31分1秒頃、元の立ち位置に戻り、警視庁警護員Xは、主として本件遊説場所の北西側及び北東側歩道上の聴衆の動向の警戒を再開した。

P16

身辺警護員Bは、自転車男性がその背後を通過した午前11時30分49秒頃から同58秒頃にかけて、南東方向を振り向いて、通り過ぎた自転車男性の動向を警戒した後、本件遊説場所の北西側及び北東側歩道上の聴衆の動向の警戒を再開した。身辺警護員Cも、自転車男性及び台車男性が直近を通過中の同30分56秒頃から同57秒頃にかけて南方向を、自転車男性及び台車男性の通過後の同30分58秒頃から同31分4秒頃にかけて南東方向から東方向の警戒に当たり、自転車男性及び台車男性が本件遊説場所の直近を通過する状況を確認した。午前11時31分6秒1発目発砲音

映像では山上は
ほぼ西方向に歩
いていた

被疑者は、自転車男性及び台車男性が警視庁警護員Xの南側を通過し、かつ、身辺警護員Cの南側を通過しようとする午前11時30分56秒頃までには、バス・タクシーロータリー内の一番北側のバス停車枠付近から同ロータリーに進入し、そのバス停車枠を通過して北西方向に歩き、本件遊説場所に接近した【別添図4参照】。



13

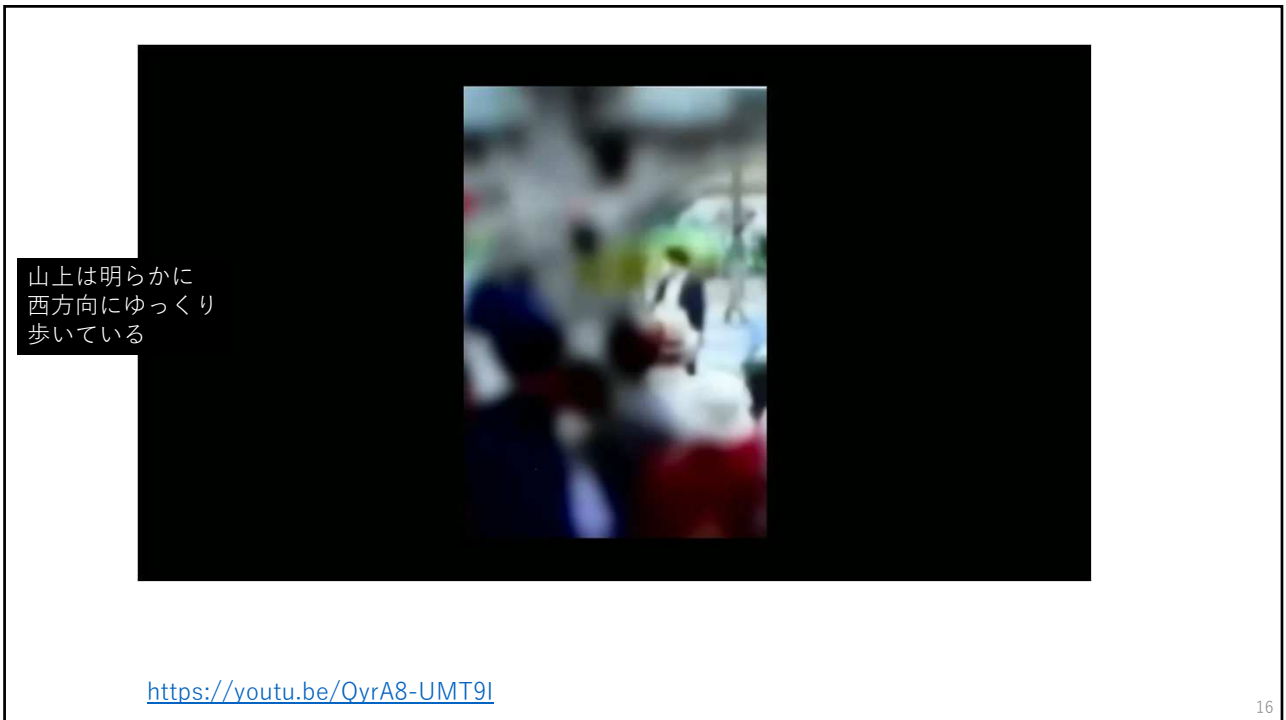
13



14



15



16

16


P17

午前11時30分57秒頃には、同バス停車枠の北西部分において、歩きながら、ショルダーバッグの中を見ながら右手を入れ、同バッグ内の中身を確認しつつ、更に北西方向に進行した。

午前11時31分0秒頃には、ショルダーバッグから視線を上げ、本件遊説場所の方向を見据えながらバス・タクシーロータリーを更に北西方向に進み、同2秒頃には、北を向いて同ロータリーから出て、本件遊説場所南側の県道（幅員約7.7メートル）の横断歩道でない部分を横断し始め【別添図5参照】、同3秒頃には、同部分を約2.7メートル北進した県道上において、歩きながら、右手でショルダーバッグから銃器様の物を取り出した【別添図6参照】。また、同5秒頃には、被疑者は、県道の中央付近まで北進し、両手で当該銃器様の物を把持し、銃口を演台上の安倍元総理に向けた。

被疑者が銃口を安倍元総理に向けた時、身辺警護員Aは、引き続き、安倍元総理から東約5メートルの本件遊説場所の北東部において、本件遊説場所の北西側歩道上の聴衆の動向を警戒しており、被疑者が接近し、安倍元総理に対して銃口

映像を見る限り、北西ではなく西方向に進み、銃を取り出す直前に北に向きを変え、その後、4歩ほど北進し、1発目発砲。①取り出し→②腕下げ→③発砲のワンツースリー3ステップ



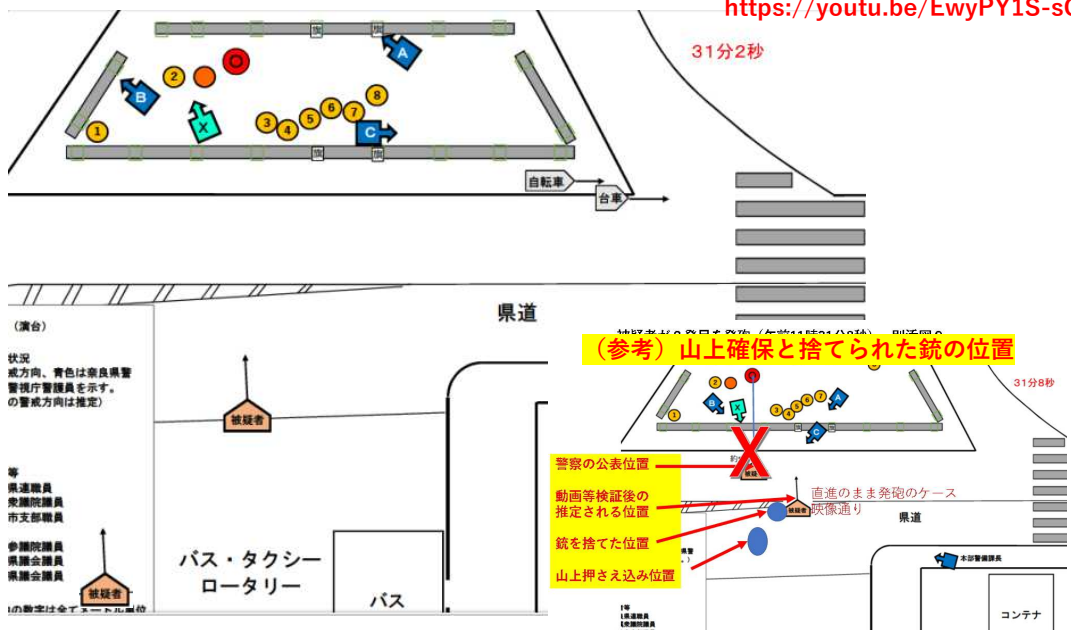
山上の進行ルート及び発砲位置の検証は次の動画も参照ください。
<https://youtu.be/EwyPY1S-sQ0>

17

山上の進行ルート及び発砲位置の検証は次の動画も参照ください。
<https://youtu.be/EwyPY1S-sQ0>

被疑者が県道を横断開始（午前11時31分2秒） 別添図5

31分2秒

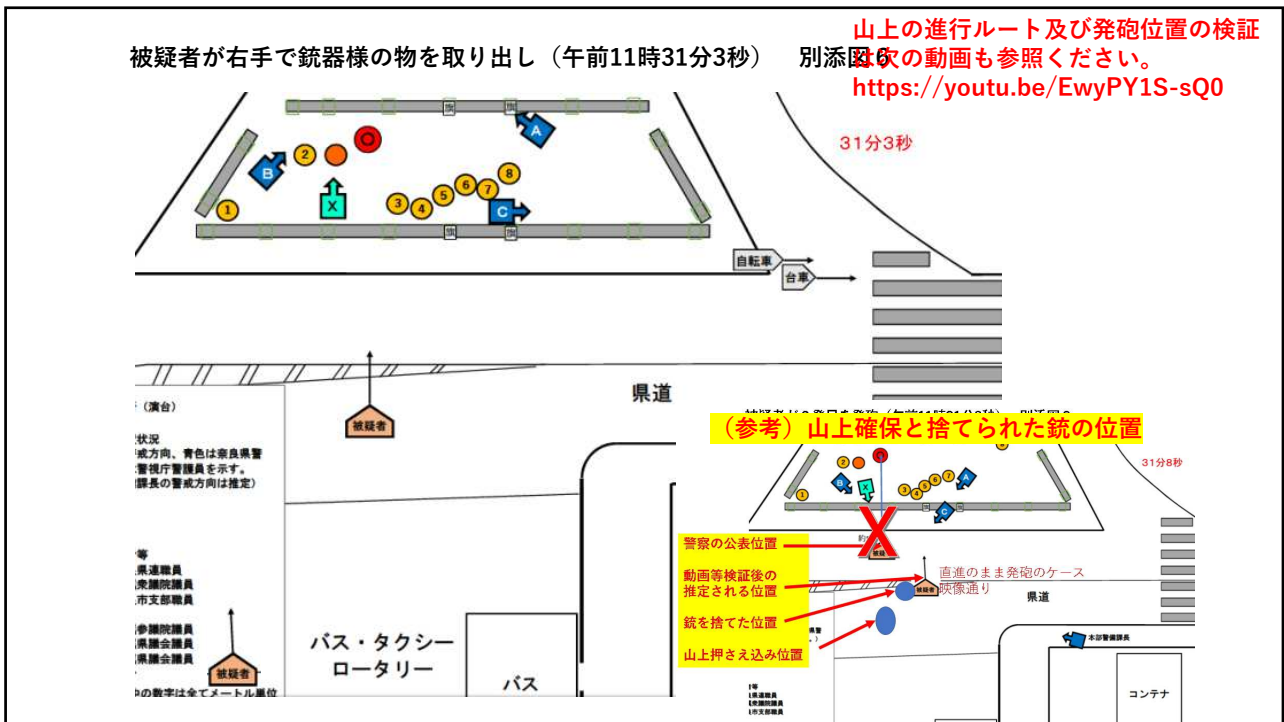


(参考) 山上確保と捨てられた銃の位置

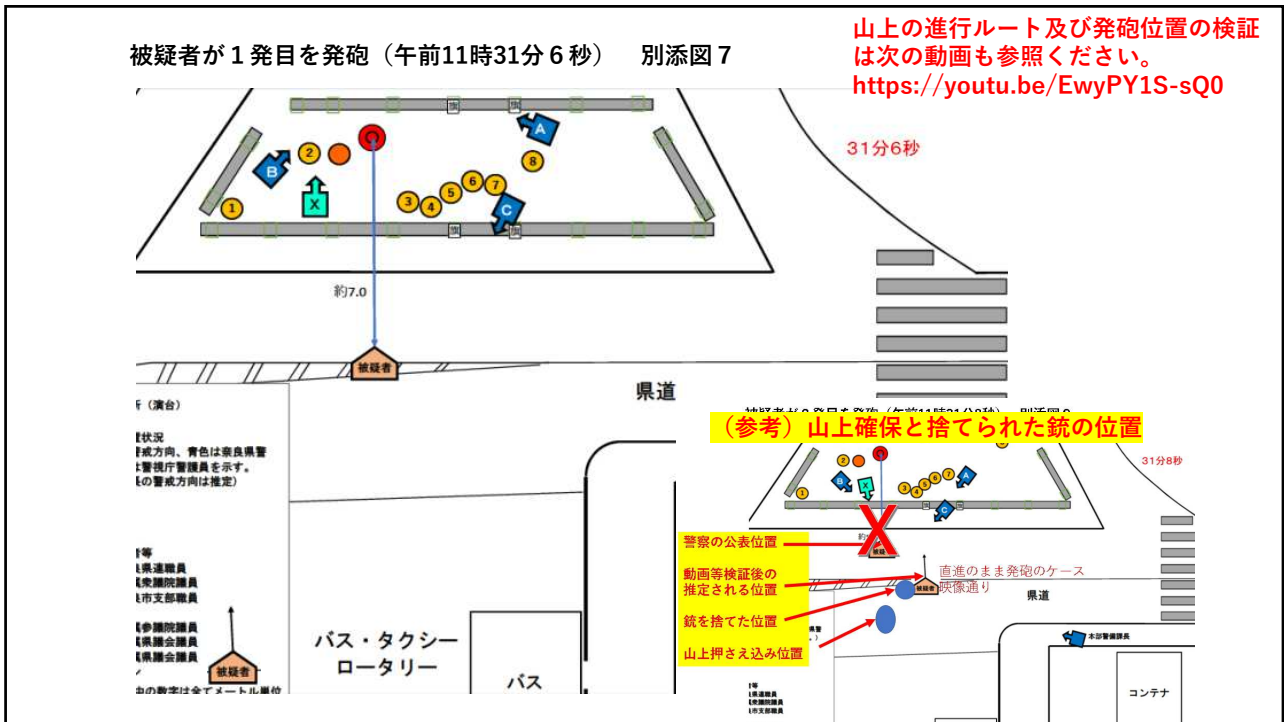
警察の公表位置
動画等検証後の推定される位置
銃を捨てた位置
山上押さえ込み位置

31分8秒

18



19



20



<https://youtu.be/ONDeSCFKaso>

21

21

また、身辺警護員Bも、引き続き、安倍元総理から西南西約3メートルの本件遊説場所の南西部において、本件遊説場所の北東側歩道上の聴衆の動向を中心に警戒しており、被疑者が接近し、安倍元総理に対して銃口を向けたことに気付かなかった。

P17

動画で確認する限り、1発目発砲の1.05秒前には南に顔を向け、ロータリーから一人ぼつと銃を構える山上に気づかないはずはない。

身辺警護員Cについても、安倍元総理から東南東約4メートルの本件遊説場所の南東部において、自転車男性及び台車男性の通過を確認した後、東方向から南方向に顔を向けたものの、南方向に顔を向けた直後であり、被疑者が接近し、安倍元総理に対して銃口を向けていると気付くには至らなかった。

なお、身辺警護員Cの南側のガードレールには、のぼり旗が2本立てられていたが、午前11時29分28秒頃以降、身辺警護員Cは、のぼり旗の間から南方向を視認できる状況であったことから、のぼり旗の存在が視界の妨げになっていたものではなかった。

警視庁警護員Xは、最も安倍元総理に近く、南西約2メートルの位置で警戒していたが、自転車男性に対する警戒終了後、北方向に顔を向け警戒しており、被



22

22



23

P18

(6) 1発目の発砲から2発目の発砲に至るまでの状況

南7mから1発目発砲は大手メディアが報道している位置と一致すると思われるが、第三者映像活用現場検証では、南約11mと推測される。しかも真南ではない。

警護員Cは、少なくとも1発目発砲の1秒前には南方向に顔を向けており、発砲直後はな

午前11時31分6秒頃、被疑者は、銃器様の物を両手で把持したまま県道を北進し続け、県道の中央を越えて、安倍元総理から南約7.0メートルの距離から1発目を発砲した【別添図7参照】。

身辺警護員Aは、1発目の発砲音を銃器によるものと認識しなかったが、約1秒後の同31分7秒頃、振り返って被疑者が構える筒状の物を認めた。

身辺警護員Bは、1発目の発砲音を銃器によるものと認識しなかったが、約1秒後の同31分7秒頃、振り返って被疑者の存在を認めた後、同8秒頃、安倍元総理の演台方向に向かい、警視庁警護員Xと共に、被疑者と安倍元総理の間（以下「射線」という。）に入ろうとした。

身辺警護員Cは、東方向から南方向に顔を向けた直後に1発目の発砲があり、その直後、銃器様の物を所持する被疑者の存在を認めたことから、被疑者の確保に向かうため、同31分7秒頃、本件遊説場所南側のゼブラゾーン上のガードレールに左手をかけ、当該ガードレールを乗り越えようとした。

身辺警護員Xは、1発目の発砲音を銃器によるものと認識しなかったが、約

24

24

る。

護員Cは、少なくとも1発目発砲の1秒前には南方向に顔を向けており、発砲直後ではなく西方向を見つめる様子が映像で確認される。

(注意) 上記映像は改竄されているもので、実際には山上を見つめていました

理の演台方向に向かい、警視庁警護員Xと共に、被疑者と安倍元総理の間（以下「射線」という。）に入ろうとした。


身辺警護員Cは、東方向から南方向に顔を向けた直後に1発目の発砲があり、その直後、銃器様の物を所持する被疑者の存在を認めたことから、被疑者の確保に向かうため、同31分7秒頃、本件遊説場所南側のゼブラゾーン上のガードレールに左手をかけ、当該ガードレールを乗り越えようとした。

警視庁警護員Xは、1発目の発砲音を銃器によるものと認識しなかったが、約1秒後の同31分7秒頃、振り返り、被疑者の存在を認めたことから、同8秒頃、左手に携行していた防護板（身辺警護員が携行する防弾用資機材であって、警護対象者を銃撃から防護するために用いられるものをいう。以下同じ。）を掲げながら、射線に入ろうとした。

本部警備課長は、1発目の発砲音を銃器によるものと認識しなかったが、1発目の発砲後、状況を確認するため、本件遊説場所の南東方向に位置する横断歩道の南側歩道上を西方向に向かった。

本件遊説場所の西側歩道上に配置されていた署警護員のうち1名は、1発目の

P18



27

27



(注意) 上記映像は改竄されているもので、実際には山上を見つめていました

28

28

P18

の南側歩道上を西方向に向かった。

本件遊説場所の西側歩道上に配置されていた署警護員のうち1名は、1発目の発砲後に被疑者の存在を認め、同31分8秒頃、県道の車道部分に進入し、被疑者に向かって駆け出した。



被疑者は1発目の発砲後、更に本件遊説場所に接近し、午前11時31分7秒頃、再度、両手で銃器様の物を構え、銃口を演台上的安倍元総理に向けた【別添図8参照】。

安倍元総理は、演台上で、北西方向に向いてマイクを用いて演説していたが、被疑者の発砲を受け、同時刻、演説を中断し、左後方を振り返ろうとした。結果として、1発目について、安倍元総理は被弾しなかった。

(7) 2発目の発砲から被疑者の逮捕に至るまでの状況

被疑者は、1発目の発砲から約2.7秒後となる午前11時31分8秒頃、安倍元総理から南約5.3メートルの距離から2発目を発砲し、安倍元総理が被弾した【別添図9参照】。安倍元総理は、同9秒頃、演台から降り、同10秒頃、その場に倒れ込んだ。

全く意味不明の記載。
発砲を受け、振り返ろうとしたので被弾しなかった??
1発目の銃口は安倍元総理右後ろの櫻井氏と仲川氏の首辺りに向けられていた。

29

29

安倍元総理 銃撃時の様子は
破裂音・煙・風圧…当時を振り返る

NEWS

きょう4現場

自民党奈良市支部
櫻井大輔さん

最初何かが破裂したのかなと



30



31

南約5.3mと記載されているが、第三者映像活用現場検証では、南南東約8mと推測される。

参考：歩行速度時速4kmだと、1秒に1.1m進む

(7) 2発目の発砲から被疑者の逮捕に至るまでの状況

被疑者は、1発目の発砲から約2.7秒後となる午前11時31分8秒頃、安倍元総理から南約5.3メートルの距離から2発目を発砲し、安倍元総理が被弾した【別添図9参照】。安倍元総理は、同9秒頃、演台から降り、同10秒頃、その場に倒れ込んだ。

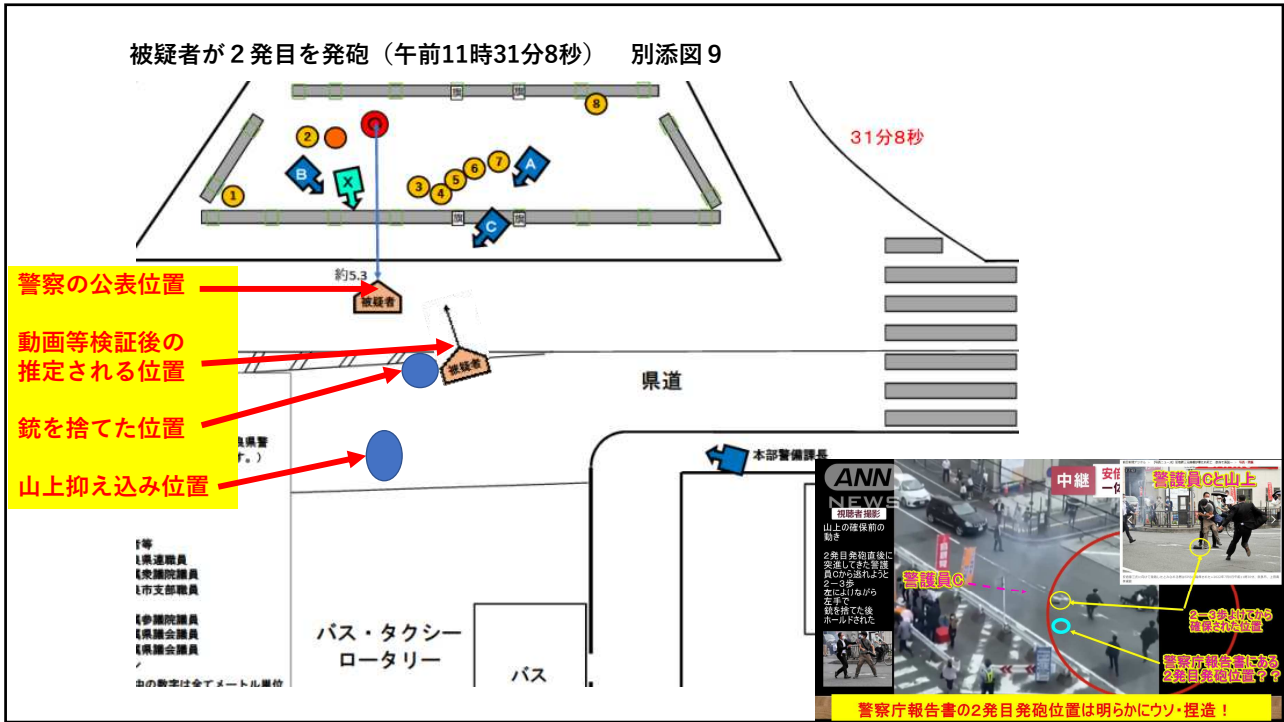
身辺警護員Cは、午前11時31分8秒頃、ガードレールに左足を掛け、ガードレールを乗り越えた瞬間、2発目が発砲された。同人は、そのまま県道の中央付近まで走り、同31分10秒頃、被疑者の右上腕部をつかんだ。また、本件遊説場所の西側歩道上に配置されていた署警護員1名は、同11秒頃、被疑者の下に駆け寄り、身辺警護員Cが被疑者の上腕部をつかんだ後、滑り込みながら被疑者の脚部をつかんだ。

P18

- 18 -

2発目の発砲も安倍氏よりかなり東側に向いていたと推定される

32



33



34

P19

複数の映像で2発目の銃口は水平かつ、安倍元総理の腰の高さに向けられており、警護員X（SP）はその射線を防護カバンで完全に遮っていることが確認される。

身辺警護員Aは、被疑者の方向に向かおうとしていたところで2発目が発砲された。2発目の発砲後、被疑者が把持している物体を銃器様の物と認識し、身辺警護員Cを迫るような形で、同31分9秒頃にガードレールを飛び越えて県道を南進し、同11秒頃に被疑者の確保に加わった。

身辺警護員Xは、防護板を安倍元総理との間に近付けることはできたが、射線を遮る前に2発目が発砲された。2発目の発砲後、被疑者が確保される同31分11秒頃までの間、次の攻撃に備え、被疑者と演台の間で防護板を掲げ続けるとともに、被疑者の確保を確認した同13秒頃には、演台付近で倒れ込む安倍元総理の下に駆け付け、その救護に当たった。

身辺警護員Bは、射線に入ろうとしたが、射線に入る前に2発目が発砲された。身辺警護員Bは、被疑者の確保を確認した同13秒頃には、演台付近で倒れ込む安倍元総理の下に駆け付け、その後、安倍元総理の直近で無線報告を行った。

本部警備課長は、本件遊説場所の南東方向に位置する横断歩道の南側歩道上を西方向に向かっていたところで2発目が発砲された。本部警備課長は、2発目の発砲後に被疑者が銃器様の物を持っており、状況を確認したところ、被疑者の確



35

35



36



37

動画では、警備課長は西に突進しながら歩道から車道に踏み出した後、なぜか再度歩道上の東に逆戻りしてから突進を再開。同歩道を東方向に歩く女性の右肩に接触し、女性が転倒した。
写真では、歩道の中央寄りで接触後は勢いよく車道にはみ出る形で後ろ向きに転倒していた。

身辺警護員Bは、被疑者の確保を確認した同13秒頃には、演台付近で倒れ込む安倍元総理の下に駆け付け、その後、安倍元総理の直近で無線報告を行った。

本部警備課長は、本件遊説場所の南東方向に位置する横断歩道の南側歩道上を西方向に向かっていたところで2発目が発砲された。本部警備課長は、2発目の発砲後に被疑者が銃器様の物を手に持っている状況を確認したところ、被疑者の確保のために駆け付けようとするも、午前11時31分10秒頃、同横断歩道の南側歩道上で通行人と接触・衝突し、同通行人を転倒させたことから、転倒した通行人に声をかけた後、被疑者の確保状況と安倍元総理の状況を確認した。

P19

議女の歩道位置は
中央寄りである

2発目発砲時は櫻井氏より東側ののぼり旗
4本のうち右から3本が大きく揺れます

これだけ広い歩道を走ってきて歩道内を歩いてきた人とぶつかるのか？

議女

女性が終わらぶつかったのがこの位置かも

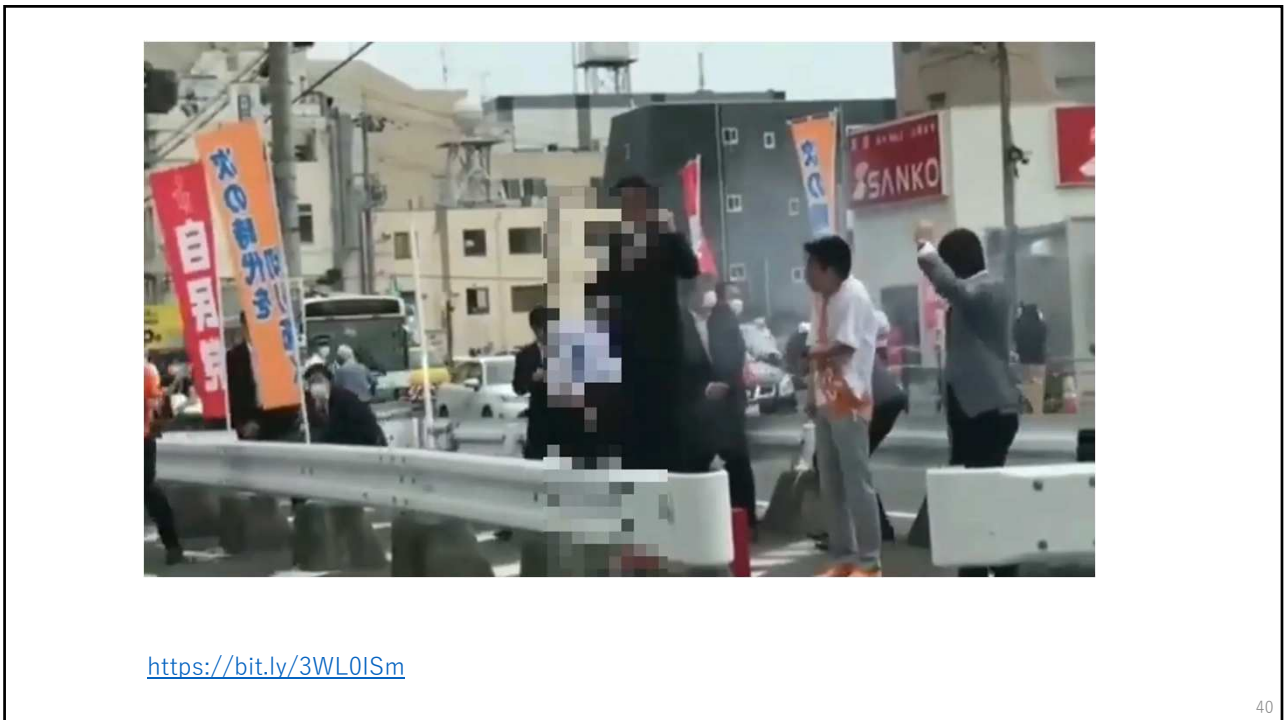
衝突

警備課長

38



39

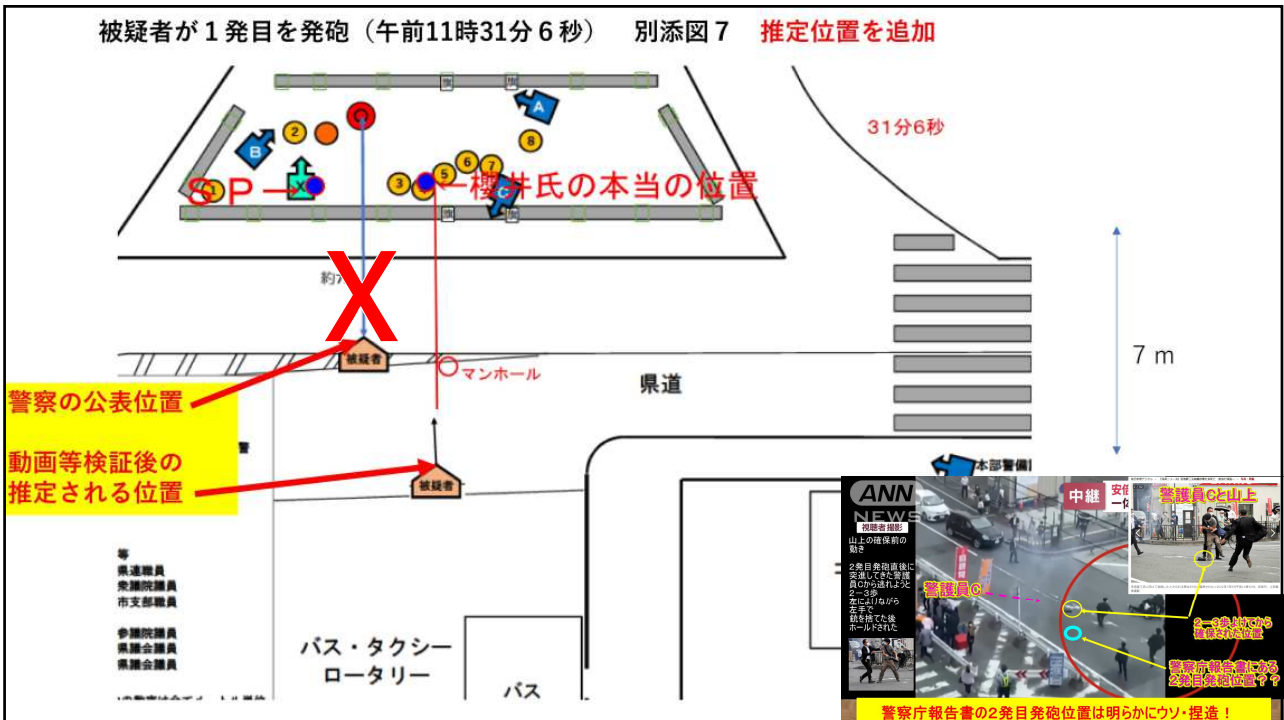


40

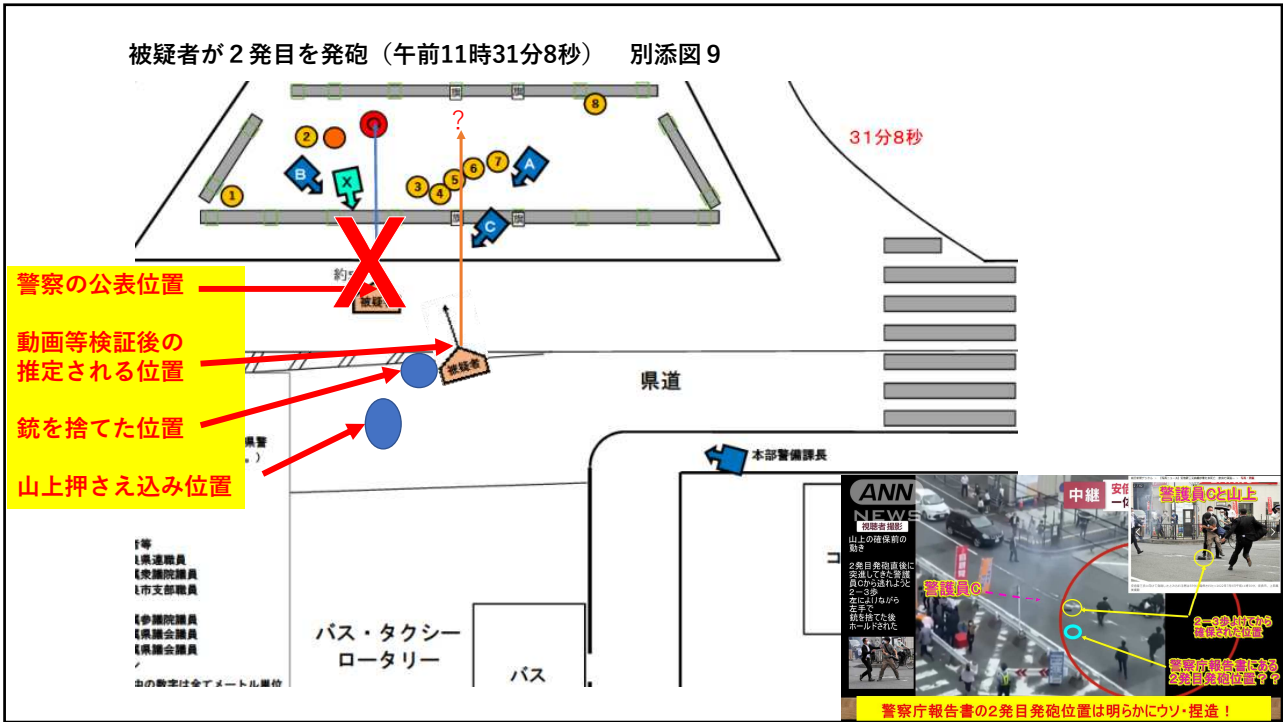
警察庁報告書の 重大な捏造は 山上の発砲位置 また 状況から実弾発砲はあり得ないと 類推される

41

41



42



43

令和4年7月9日に奈良市内において実施された安倍晋三元内閣総理大臣に係る警備についての検証及び警備の見直しに関する報告書

令和4年8月
警 察 庁

安倍元総理暗殺事件 警察庁報告書の矛盾点

公開されている映像証拠をもとに
重要部分を検証してみました。

上記報告書ダウンロードは
<https://bit.ly/43fpuNC>

本レポートの解説動画は
<https://youtu.be/hLcdK-OpYcl>

44

44

**安倍さんには山上からの銃弾は
当たっていなかった。**

**山上銃は2回の発砲とも
空砲だった。**

2023年6月20日作成動画

「山上からの銃弾が当たったのではないことの証明用 単純つ
なぎ合わせ_003826」

<https://youtu.be/VYlaHZjLK0M>

安倍元総理暗殺事件真相究明・検証用の動画公開チャンネル
「ihelper1002」

<https://www.youtube.com/@ihelper1002>

関連ツイート

「井上文二」

https://twitter.com/bunji_inoue

その他重要動画

「警察庁報告書検証レポート全体 更新版2023年3月」

動画 <https://youtu.be/hLcdK-OpYcl>

レポートPDF <https://bit.ly/43U1wZb>

奈良県立医科大学付属病院が記者会見（2022年7月8日）
<https://bit.ly/3YM7n0Y>

奈良県立医科大学付属病院

・吉川公彦 病院院長
・福島英賢（ひでただ） 救急診療科部長 プロフィール：
<https://medicalnote.jp/doctors/200828-004-UV>

福島先生：
安倍晋三氏ですが、本日、12時20分に救命センターに搬送されまして、病院到着時に心肺停止状態。当救命センターにおいて蘇生措置を行いました。残念ながら、5時3分にお亡くなりになりました。
来られた際に、頸部2箇所銃創がありまして、心臓及び大血管の損傷による心肺停止と考えられました。
当センターの方で止血術、大量の輸血を行いましたけども、残念ながらという形の結果になっております。
以上です。

毎日新聞：
音声不明瞭（死亡時刻について質問）

福島先生：
午後5時3分です。

読売新聞：
音声不明瞭（首の銃創について質問）

福島先生：
場所はですね、この真ん中、真ん中のところから少し右。真ん中のところの少し右の2箇所ですね。
大きさは非常に小さいです。

関西テレビ：
関西テレビのイズタニと申します。銃で撃たれたということなんですけども、傷の深さは？

福島先生：
深さというのは、心臓にまで到達する深さにご理解頂いたらと思います。

NHK：
NHKのアズシと申します。
4時間半、治療にあたられたということなんですけども、搬送された時にご容態がもうすでに厳しい状態だったんでしょうか？

福島先生：
はい。当院に搬送された時点で心肺停止状態。それから救急隊と、あとドクターヘリが接触した時点でもう同じく心肺停止状態であったと聞いております。

NHK：
搬送されたその時点で救命の可能性はどの程度だったんでしょうか？

福島先生：
救命の状態は、銃創ということですのでかなり厳しい状態であるということが予測されました。

NHK：

「至近距離で」ということだと思うんですけど、銃創から感じる場所があったんでしょうか？

福島先生：
私が見たのは、その傷だけですので、そこは分かりません。

ABCテレビ：
ABCテレビの太田と申します。
搬送されてから死亡が確認されるまでの4時間半少しの間、どのような処置を具体的に
行われていたのでしょうか？

福島先生：
具体的には、その胸部の止血術です。それから大量の輸血。この2点です。

奈良テレビ：
奈良テレビ放送、堀江でございます。
大量の輸血ということなんですが、量としてはどれくらい輸血をされたんでしょうか？

福島先生：
100単位以上です。ミリリットルで計算するのは今できません。100単位以上とご回
答させていただきます。

朝日新聞：
ご家族が病院の方に駆けつけられたと聞いておりますけれども、今ほどの状況等のご報告
はもうすでに先生の方でご家族様にはなされたんでしょうか？

福島先生：
はい。こちらで済ませております。

中日新聞：
中日新聞の福本と言います。
ご家族の様子は、具体的には奥様が来られたという情報があるんですが、どういう状況だ
ったのでしょうか？

福島先生：
私がお伝えしたのはその病状とその経過のみです。それ以外分かりません。

朝日新聞：
弾は、体内に残っていたんでしょうか？

福島先生：
手術している時に、弾丸の方は確認できませんでした。
そのあとはちょっとまだ。今後の経過で分かることはあるかもしれませんが、手術中には
分かっていません。

NHK：
NHKの藤田と申します。
報道とかでも、2発、発射されたということになってるんですけど、その2発のうちどち
らが致命傷になったのかということと、2つ傷があるということなんですけどもどちらが
〇？に到達したということなんでしょうか？

福島先生：
それはちょっと分かりかねます。分かっているのは銃創と思われる傷が二つあったとい
うことだけです。

NHK：
その傷によって出血してお亡くなりになったということですね？

福島先生：
その傷が、先ほどお伝えしたように、胸部に、心臓大血管にたどり着いたため、その心臓大血管が損傷したために出血をされたというところでございます。

(?社名名乗らず)：
2発というのは、胸部ですか？頸部ですか？

福島先生：
頸部です。

(記者)：
頸部に2発？

福島先生：
はい。頸部に2つの銃創があったということです。

(記者)：
頸部に2か所銃創があって、心臓が損傷していたということですが？

福島先生：
方向がそっち方向に向かってたんだと思います。

中日放送：
中日放送の野島と言います。お疲れ様でした。
確認のためなんですけど、「身体に2箇所銃創があり、心臓と胸部の大血管に損傷があった」という言い方で間違い無いでしょうか？

福島先生：
はい。その通りです。

中日放送：
その頸部というのは、もう一度、どこらへんなんでしょうか？

福島先生：
(首の根元中央右、真ん中のところから少し右を指す) ここです。

中日新聞：
右首、首の右元。2箇所。なるほど。そこに2箇所と心臓部分というのはどういうことなんでしょう？

福島先生：
(首元中央を指して) あの、この下すぐ、大血管になってますので、心臓も割と近いところにありますから。

中日新聞：
なるほど。ありがとうございます。
もう一つなんですけど、手術をしていたという話がありました。その手術の内容としましては、どういった内容、ちょっと素人なんでわかりにくいかと思うんですが、簡単に説明していただければと思います。

福島先生：
基本的には、出血しているところを探しに行かないといけませんので、大きく開胸して、出血点を探しに行くという、「止血術」という表現になります。甦生的開胸になります。

中日放送：
出血点を探して、そこを見つけ出す手術であった。

福島先生：

そうです。それで止血をする。見つけたら当然止血をするということです。

NHK :

NHKの稲垣といいます。

死因に繋がった、死亡の原因となった要因というのは、出血死なのか。どういうふうにお考えですか？

福島先生 :

出血死でいいと思います。

NHK :

心臓に到達したということなんですけども、臓器であるとか、手術をされていて臓器の損傷であるとか、内部の損傷というのは激しいものでしたか？

福島先生 :

心臓の傷自体は、大きいものがありました。

NHK :

具体的にいうとその傷というのはどういった形のもの？

福島先生 :

たぶん、弾丸による心損傷、大きな穴ですね。心臓の壁に開いた穴です。

NHK :

他の銃創と色々比較して、今回のものは何か特徴はありますか？

福島先生 :

今回と比較してということは、基本的にはしてませんし、銃創とは、そういった入り口よりも、大きな傷を作るもんだというふうに理解していますので。

中日新聞 :

中日新聞の岡谷と申します。

心臓に内部まで到達していて、傷痕があるのは首に2箇所だと。あと弾丸が中から見つからなかったということですが、

貫通したような背面の、反対側の傷とかいうのはあったんでしょうか？

福島先生 :

一つだけ、「左の肩」に別の傷があったんで、そこがおそらく「射出口」と言われるところだったんじゃないかというふうに考えています。

中日新聞 :

それは、「左肩」に一つ。

福島先生 :

はい、そうです。

中日新聞 :

片方（の弾）は、そこから貫通したのではないかと思われる。

福島先生 :

はい。

中日新聞 :

もう一個の方は、そういう貫通したような傷はないと？

福島先生 :

はい、ないです。

中日新聞：
両方に関して銃弾は発見していないということですね？

福島先生：
今のところ。はい。

報知新聞：
報知新聞の筒井と申します。
亡くなられた時間が5時3分ということなんですけれども、ご家族が到着されたのが確か5時過ぎだったような気がするけれど、到着された時にはすでにお亡くなりになっていたということなんですか？

福島先生：
救急隊接触時から、ずっと心肺停止状態であられました。

ABCテレビ：
ABC？テレビの太田と申します。先ほど指で指して、実際の傷のところを教えていただきましたが、その二つの傷はかなり近いところにあったのでしょうか？同じ部位の中でどのあたりにあったのでしょうか？

福島先生：
基本的には二つあって、その距離的には、5センチくらいですか、はい。

読売テレビ：
昭恵夫人が到着してからの安倍さんの、元総理の状態についてもう一度お伺いしたいです。

福島先生：
今ずっとお話しさせていただいたことと同じことを説明させていただいています。

読売テレビ：
心肺停止だったということですか？

福島先生：
はい、そうです。

読売新聞：
処置ですけど、止血と輸血をされたということなんですけど、止血はできたけど亡くなったのか、止血できずに亡くなったのか？

福島先生：
止血がコントロールできたところもあったんですけども、大量に出血されておられるので、すでに血液も固まるというか、凝固する力も失っている状態でしたので、いろんなところから出血をするというふうな状態になってましたので、完全に止血ができたということとは言えないかなと思います。ただある程度大きな血管からの出血はコントロールまではできたんですけども、残念ながら心拍は再開しなかったということです。

毎日放送：
救急隊の方が来られるまでに、現地の方々がAEDなどの処置を行ったと聞いているんですが、そういう処置に関しては適切だったと思われませんか？

福島先生：
当院に搬送されてからのことしか、ちょっと分かりませんので、その辺のところはどういう状況だったのか分からないのでお答えできません。

毎日放送：
もし心臓などに、銃などで撃たれた場合、そういった場合は一般的に、心臓マッサージや心臓を蘇生させるための措置というのはする方が良いものなのではないでしょうか？

福島先生：
一般的には、そうだと思います。

(?の松本?聞き取り不可)：
報道では集中治療室で治療が行われていたということなんですが、(聞き取り不可) お亡くなりになるまでそこで治療されていたということでしょうか？

福島先生：
集中治療室には入れませんでした。外来処置室のままです。

(?聞き取り不可)：
今回、撃たれた現場で即死したという理解でいいのでしょうか？

福島先生：
撃たれた現場で心肺停止状態になったというふうな表現になるかと思います。

(?聞き取り不可)：
ここに移した時点では手遅れというふうな言い方をしてもよろしいのでしょうか？

福島先生：
すでにかなり大きな怪我があったことには違いはありませんので、そういうふうな一般的にはそういうご理解になるのかもしれませんが、我々としては、心肺停止状態ということで対応してます。
亡くなられた状態としては扱ってはおりません。

関西テレビ イズタニ：
先ほどちょっと聞こえなかったんですが、集中治療室ではなく何室で処置されていたんでしょうか？

福島先生：
外来処置室です。

ジャーナリストのアワノ：
安倍さんは苦しそうな顔でおられたのか、そうじゃなかったのか、印象だけでいいんですけど。

福島先生：
お顔を拝見する時間はありませんでした。すぐに処置をしましたので。

中日新聞：
中日新聞の岡谷です。現場では、背後から銃撃を受けたのではないかという話がありましたけれど、弾が入った傷というのは前側についていたということなんですか？

福島先生：
はい。頸部、前頸部ですね。
前の首であって、後ろ、背部、後ろに傷はありませんでしたから。

中日新聞：
じゃあ、いずれも、2発とも前から入って、片方、さっき左肩にというのは、左肩の後ということですか？

福島先生：
前というのは、一応、場所が前であって、どういう方向で入ったのかは、別方向、横からかもしれません。
ただ傷は前にあったということです。

中日新聞：

その左肩の排出口と見られる傷というのは、それは左肩の後ろ側なんですか？

福島先生：
左肩の前の方ですね。

中日新聞：
前側？

福島教授：
はい。

中日新聞：
そうすると、もう横でこう通るように出ていってるとしかないという？

福島先生：
そこはちょっと分からないですけど、そう思われる傷があったということです。

中日新聞：
いずれにしても「前だった」ということですね、傷は？

福島先生：
はい。

週刊朝日：
週刊朝日のカラサワと申します。
先ほどの傷のところなのですが、前から入って、左肩の前の方に傷があったということなのですが、その説明の中で、心臓の壁を破った大きな傷があったという話なのですが、そこから心臓を傷つけて、左側から抜けていったという感じなんですか？

福島先生：
肩に抜けたのは、もしかすると、2発目とか。あるいは1発目とはなにか別の銃弾だったかもしれません。
そこはちょっと分かりません。

週刊朝日：
いずれにしろ心臓の壁に大きな傷があったということですか？心臓のどの部分ですか？

福島先生：
心臓の心室ですね。心室の壁です。

朝日新聞：
朝日新聞の清水です。安倍元首相のお身体は5時3分に死亡を確認されたあと、引き続きこの奈良医大のどういうところでどういう死亡的な処置も含めて今後どのように奈良医大として関わっていくのか教えてもらえますか？

福島先生：
すみません。この後の流れについては、まだ詳細は決まっておりません。

(?〇社のカワセ)：
処置の規模感と言いますか、具体的に何人体制で、どのような状態で処置を行なわれたかをお伺いしたいんですけども？

福島先生：
人数はですね。途中、途中、最初からたくさん的人数を呼んで、応援を途中で呼びましたので、正確な数は数えてはいたんですけども、最終的には20人以上の体制で臨みました。始まった時も、10人以上の体制を組んでやりました。

週刊文春：

週刊文春の和田と言いますが、
駆けつけられたご家族は奥様だけと考えるとよろしいでしょうか？

福島先生：
奥様は来られてます。その他の方はちょっと分かりません。

NHK：
NHKの藤田と申しますが、
先ほど、心臓の心室という部分が出血していましたということなんですけども、おそらく、首から入って、血管を通して抜けていったんだと思うんですが。
心臓の右心室、左心室、二つあると思うんですけど、どういう血管から入ってどのように抜けていったのかというのは、今の時点でわかりますか？

福島先生：
銃創は、その、一直線で進みませんので、身体の中で、あちこち動きますので、どうなったかというのは正確には今ちょっと分かりません。

NHK：
今のところは、入ってきた部分が、首の頸部のどちらかの傷で、最終的には、おそらく心臓と、後は肩口から出ていったように見られるということではよろしいですか？

福島先生：
はい。今のところそう考えていますけれども、専門家が見られると違うかもしれません。

時事通信：
病院長にお伺いします。
安倍元首相が亡くなったことについて、病院長としての受け止めについてお伺いしてもよろしいでしょうか？

病院長：
非常に残念な行為が行われて、誠に残念であります。
病院としてはできるだけのことを尽くしてやりました。
本当に非常に残念であります。以上です。

共同通信：
共同通信の平野と申します。確認になってしまいますけれども、安倍首相の首の前部に傷があり、首の後ろ側には傷がなくて、肩に射出口と見られる傷があった。こういう理解でよろしいでしょうか？

福島先生：
今の時点ではそういうふうに理解しています。

(?聞き取り不可)：
元総理大臣なので当然と言えば当然なのかもしれないんですけども、来られたことで、通常の体制がストップしたところがあったりとか、そういう意味で色々全力を尽くされたという理解でよろしいでしょうか？

福島先生：
ストップしてというのは？院内ですか？とりあえず救命センターの方で対応できるところまでやっておったんですけども、院内とは連携をしてですね、例えば手術室の確保であるとか、そういった体制はしておりました。

中日新聞：
中日新聞の福本です。
安倍元首相はご病氣をお持ちになっていたということがありましたけども、これと今回の亡くなったことというのは何かしら関係があるのでしょうか？

福島先生：

関係はないと思います。因果関係は全くないと思います。

(不明) :
頸部というのは鎖骨の上から入ったということでしょうか？

福島先生 :
高さで言えば、鎖骨よりは上ですね。

(不明) :
鎖骨自体には損傷とか？

福島先生 :
鎖骨にはなかったと思います。

(以上)